



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ 警 告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警 告

- 下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。
各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。
(1)ペースメーカー等の体内埋込型機器 (2)人工心肺等の生命維持用機器 (3)装着型の心電計等

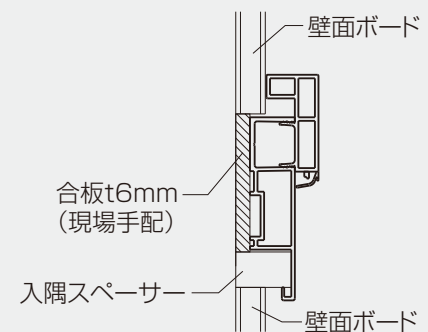
⚠ 注 意

- 本体を取付けた後、本体側丁番(上)のロックねじが締められて外れないことを目視と本体をゆすって確認してください。 ロック板で固定されていないと本体脱落の原因になります。
- 建付け調整後 本体・枠への固定ねじ及び丁番本体の固定ねじが締まっていることを必ず確認してください。 丁番固定ねじの締忘れ、ゆるみなどは、本体脱落の原因になります。
- ドアストッパー床付け部品のフラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。 思わぬケガをするおそれがあります。
- 扉を開放しておくときは、必ずドアストッパーのロックレバーを下げて扉を固定してください。
扉が強風で強く閉まり思わぬケガをするおそれがあります。
- 2人以上で作業してください。 1人作業では商品の転倒などによりケガや躯体、商品のキズつきが発生するおそれがあります。

⚠ 注 意

【両入隅の場合】

- 戸先側が入隅になる場合、縦枠裏面に6mmの合板を張付けてかさ上げして枠を取付けてください。かさ上げしない場合、ドアの開閉により壁にキズつきが発生します。



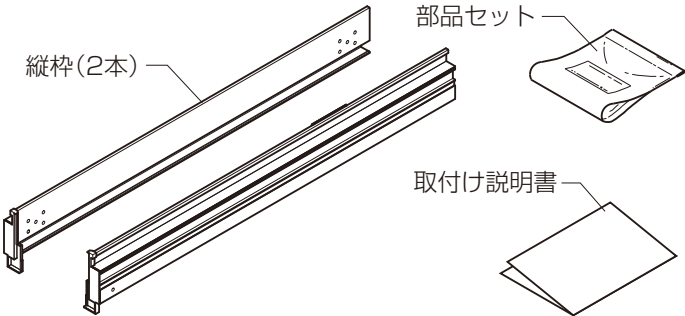
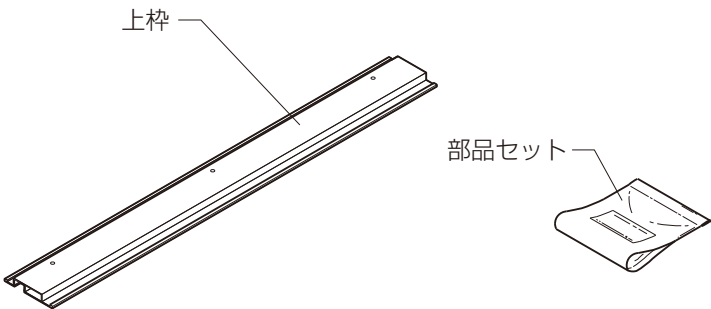
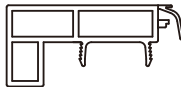
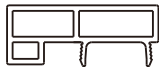
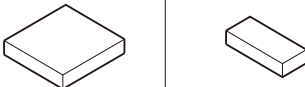
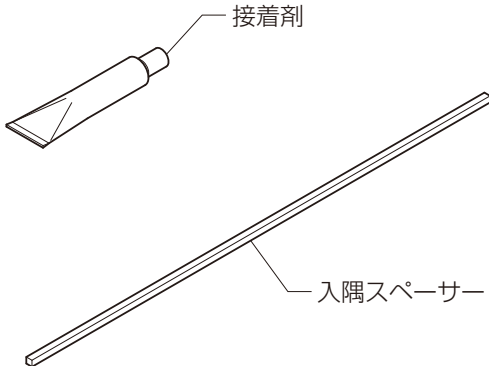
■取付け上のおお願い

- 本製品の上枠は天井のふところに納まります。枠を躯体に取付けた後に、天井ボードの施工を行ってください。
- 本製品は床材の上に納まる仕様です。
- 縦枠下端はカットしないでください。本体を吊込めなくなります。
- ドアライン枠は二方枠、三方枠ともに、枠の組立は行いません。躯体に部材をそれぞれ取付ける仕様ですので「開口部の作り方」を参照し躯体開口寸法出しに注意してください。
- 本製品は本体が天井高さで納まります。搬入や吊込み時など天井面、壁面にキズを付けないよう注意してください。
- 対応壁厚は「開口部の作り方」を参照してください。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。
かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- かい木は躯体(柱、胴縁含む)と同じ幅のものを使用してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。
締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。
- 造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
- 戸当りは、ハンマーなどで直接たたき込まないでください。
- ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- 枠はたおれ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 軽量鉄骨に取付ける際は必ず軽量鉄骨と枠の間に木枠を入れて取付けしてください。
- 製品取付けの際の建具養生時に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。
- 運搬・加工の際は、傷つかないように取扱ってください。
- 採光窓および鏡面色本体の表面にキズ保護用シートを貼り付けてあります。キズ保護用シートは必ず手ではがしてください。

■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

ドア本体		縦柵		上柵	
					
戸当り(別売り)					
平入り納まり戸先用		平入り納まり吊元用		入隅納まり戸先用	
					
					
上柵用		入隅納まり吊元用		上柵用	
					
					
コンパクトピボット丁番セットL/R(別売り)		入隅スペーサーセット(別売り)			
					
埋込沓すりセット(別売り)					
					

■施工のながれ（二方枠の場合）

お願い

- ※本製品は床材の上に納まる仕様です。
- ※縦枠下端はカットしないでください。本体を吊込めなくなります。

室内ドア
ライン枠
二方枠仕様
施工手順動画

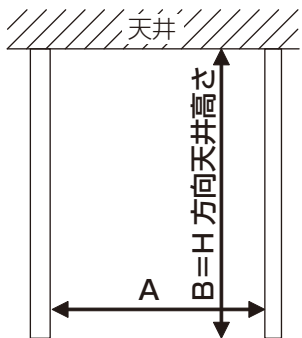


5750955443001

建築工事

1 開口部の作り方

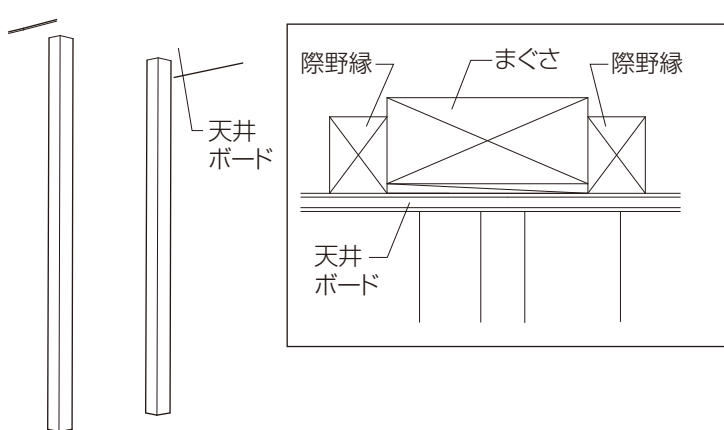
▶ 5/16 ページ



A 寸法は納まりにより異なります。

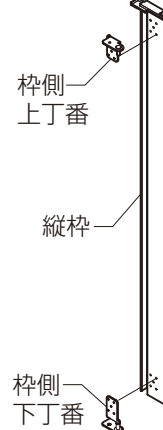
2 天井ボードの施工

▶ 5/16 ページ



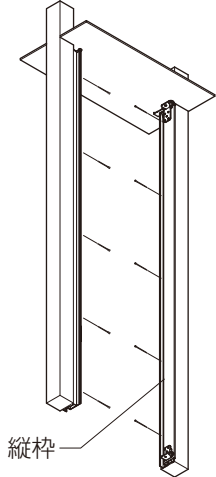
3 枠側丁番の取付け

▶ 5/16 ページ



4 縦枠の取付け

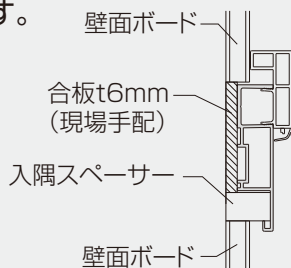
▶ 5/16 ページ



注意

【両入隅の場合】

- 戸先側が入隅になる場合、縦枠裏面に6mmの合板を張付けてかさ上げして枠を取付けてください。
- かさ上げしない場合、ドアの開閉により壁にキズつきが発生します。

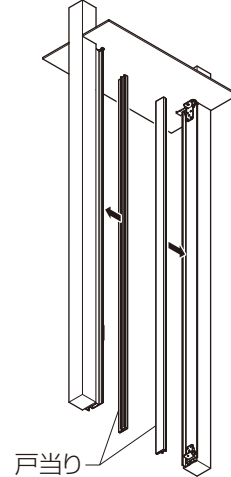


■施工のながれ（二方枠・三方枠共通）

1 戸当りの取付け

▶ 10/16 ページ

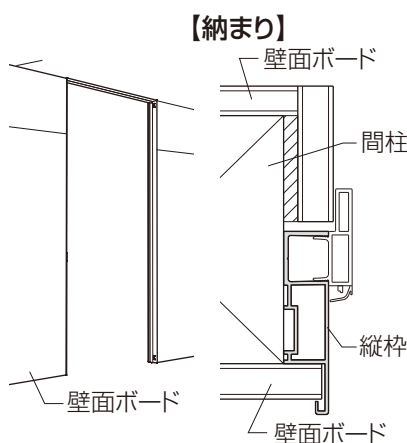
以降の施工のながれは三方枠の場合と同様です。



建築工事

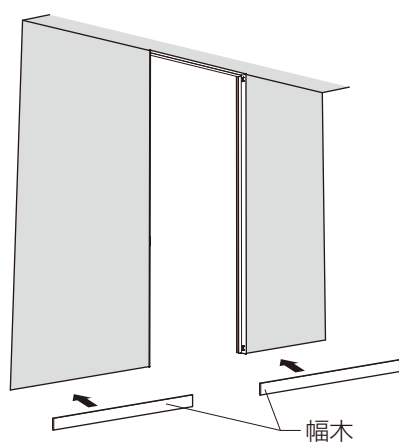
2 壁面ボードの施工

▶ 10/16 ページ



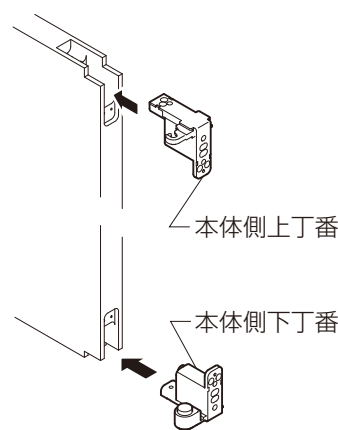
3 クロス・幅木の施工

▶ 11/16 ページ



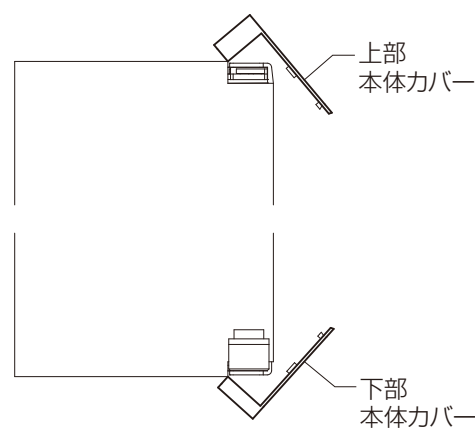
4 本体側丁番の取付け

▶ 11/16 ページ



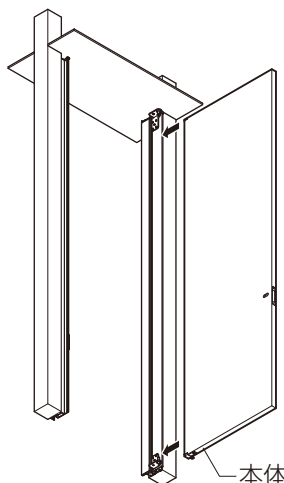
5 本体カバーの取付け

▶ 11/16 ページ



6 本体の取付け

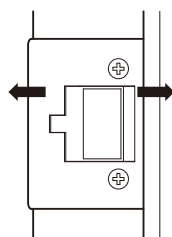
▶ 12/16 ページ



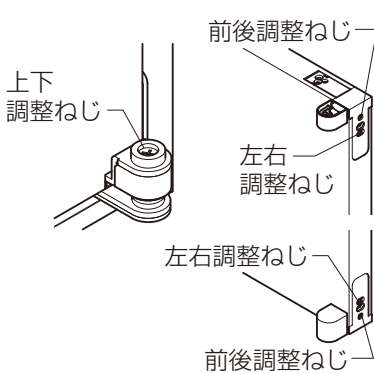
7 建付け調整

▶ 13/16 ページ

・ストライクによる調整

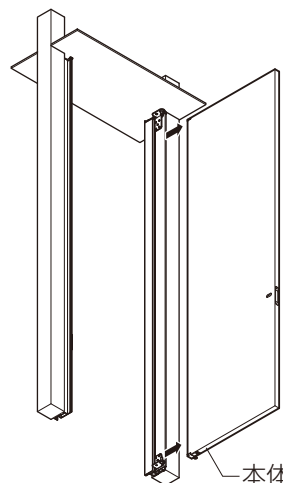


・丁番による調整



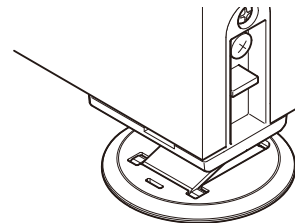
8 本体の取外し方法

▶ 14/16 ページ



9 みえナイズウッドアストッパー 床付け部品の取付け

▶ 14/16 ページ



みえナイズウ
ドアストッパー
機能紹介動画



5605383480001

■施工のながれ（三方枠の場合）

お願い

※本製品の上枠は天井のふところに納まります。上枠を躯体に取付けた後に、天井ボードの施工を行ってください。

※本製品は床材の上に納まる仕様です。

※縦枠下端はカットしないでください。本体を吊込めなくなります。

室内ドア
ライン枠
三方枠仕様
施工手順動画

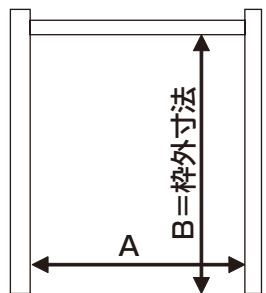


5770914047001

建築工事

1 開口部の作り方

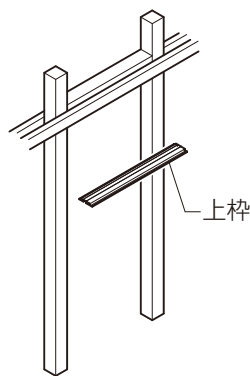
▶ 7/16 ページ



A 寸法は納まりにより異なります。

2 上枠の取付け

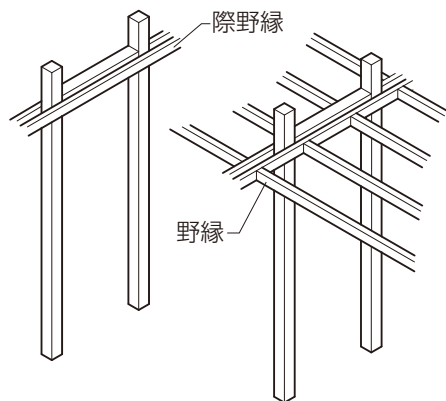
▶ 7/16 ページ



建築工事

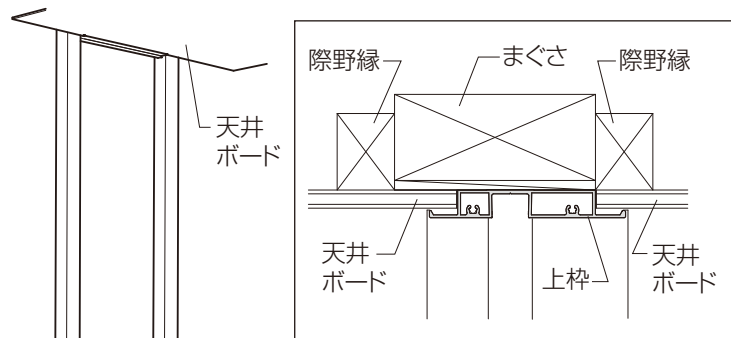
3 天井下地の取付け

▶ 8/16 ページ



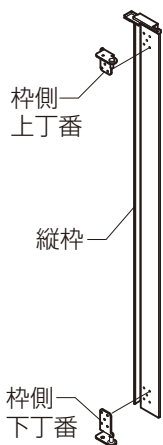
4 天井ボードの施工

▶ 8/16 ページ



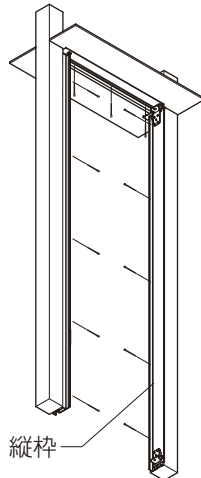
5 枠側丁番の取付け

▶ 8/16 ページ



6 縦枠の取付け

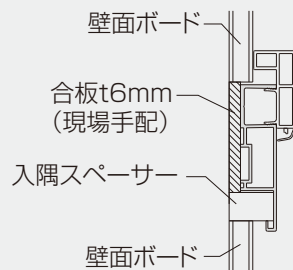
▶ 8/16 ページ



▲ 注意

【両入隅の場合】

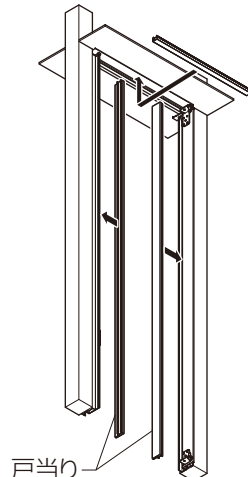
●戸先側が入隅になる場合、縦枠裏面に6mmの合板を張付けてかさ上げして枠を取付けてください。
かさ上げしない場合、ドアの開閉により壁にキズつきが発生します。



■施工のながれ（二方枠・三方枠共通）

1 戸当りの取付け

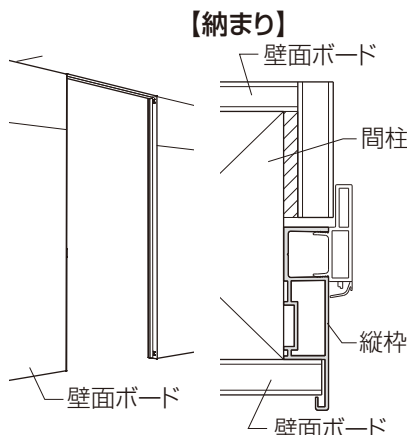
▶ 10/16 ページ



建築工事

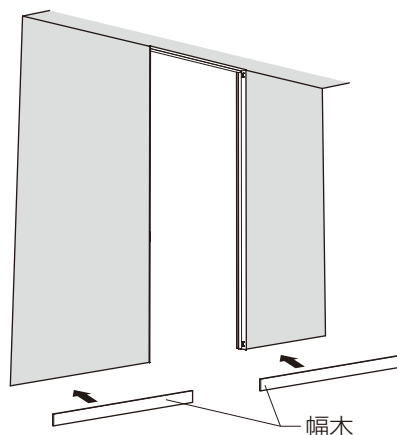
2 壁面ボードの施工

▶ 10/16 ページ



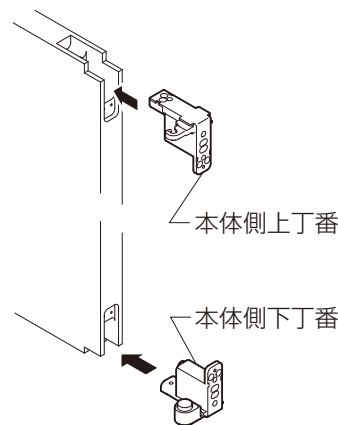
3 クロス・幅木の施工

▶ 11/16 ページ



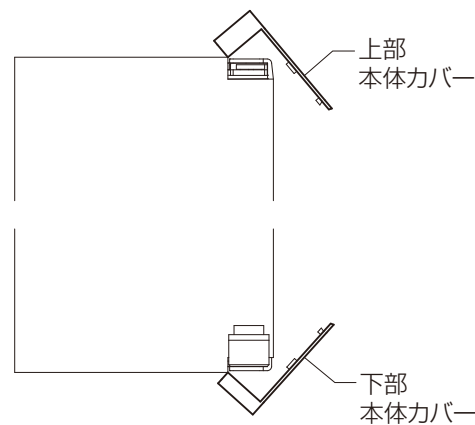
4 本体側丁番の取付け

▶ 11/16 ページ



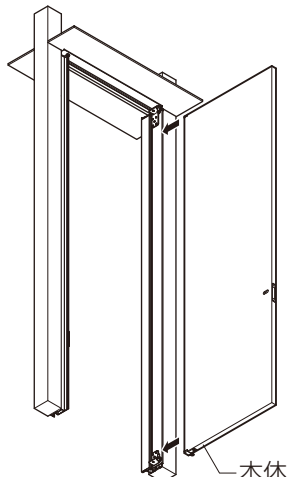
5 本体カバーの取付け

▶ 11/16 ページ



6 本体の取付け

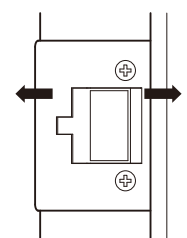
▶ 12/16 ページ



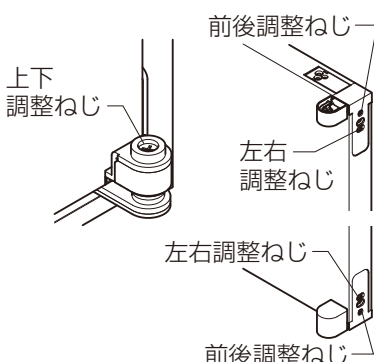
7 建付け調整

▶ 13/16 ページ

・ストライクによる調整

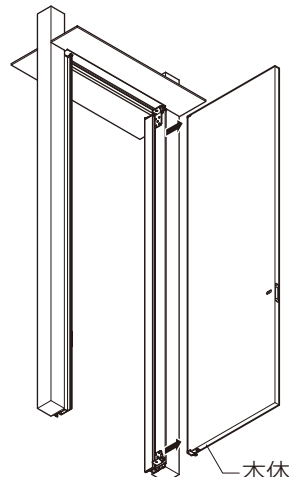


・丁番による調整



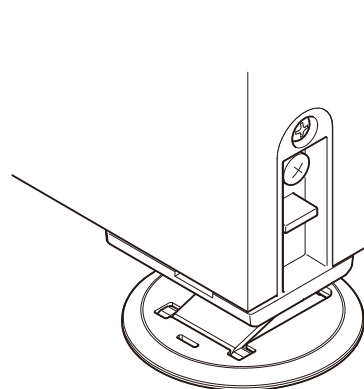
8 本体の取外し方法

▶ 14/16 ページ



9 みえナイズウッドアストッパー 床付け部品の取付け

▶ 14/16 ページ



■取付け順序(二方枠の場合)

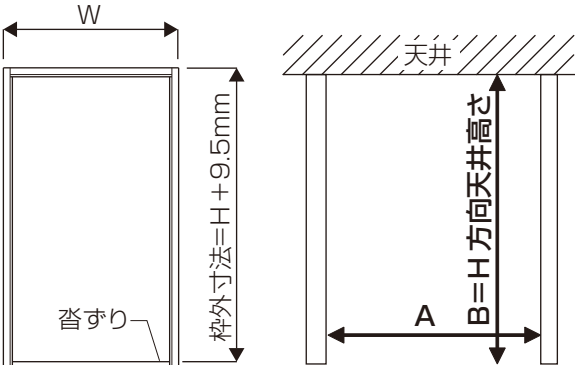
建築工事

1 開口部の作り方

※対応壁厚：94mm以上

●製品寸法

●開口寸法



開口寸法の許容範囲：A・B寸法共に+4mm、-0mm

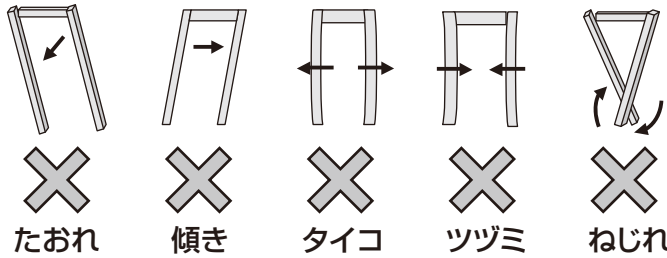
※開口幅寸法（A 寸法）は寸法対応表を参照してください。

■A寸法対応表

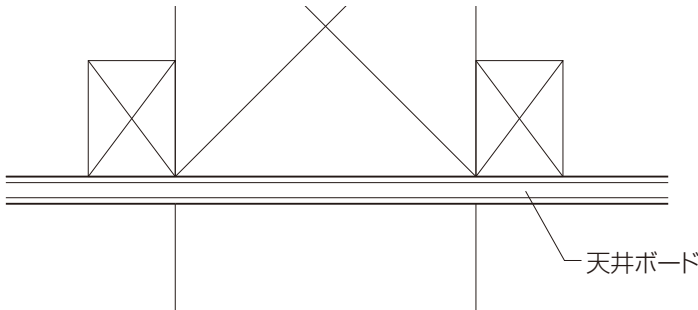
納まり 壁面 ボード厚	戸先平入り納まり、 吊元平入り納まり	戸先平入り納まり、 吊元入隅納まり	戸先入隅納まり、 吊元平入り納まり	戸先入隅納まり、 吊元入隅納まり
9.5mm	製品寸法	製品寸法	製品寸法+6mm	製品寸法+6mm
12.5mm				

- ①下げ振りを使って柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器、曲尺を使ってまぐさが柱と垂直で水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。

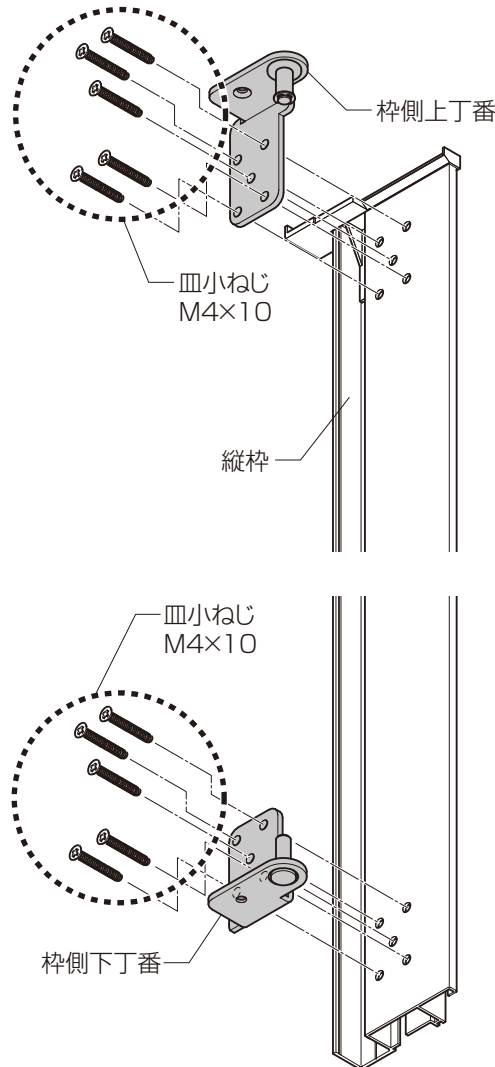


2 天井ボードの施工



3 枠側丁番の取付け

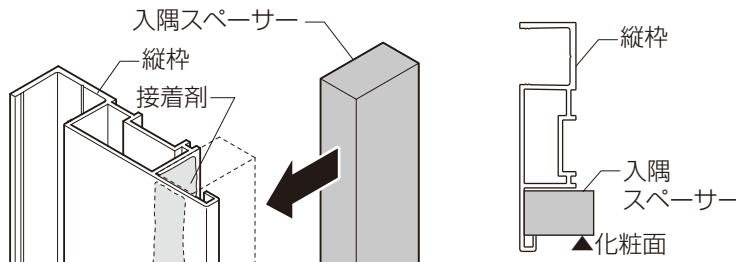
- ①縦枠に枠側取付け用皿小ねじM4×10で取付けます。



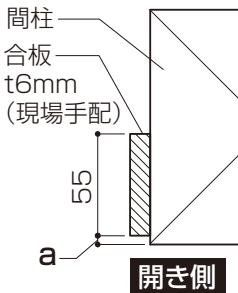
4 縦枠の取付け

取付け準備(戸先が入隅の場合のみ)

- ①戸先側の縦枠に入隅スペーサーを縦枠長さに合わせて切断し、スペーサー同梱の接着剤（ポリチューブ）で縦枠に張付けてください。
※接着剤は縦枠側に塗布してください。



- ②戸先側の縦枠取付け面を 6mm ふかします。
間口高さと同寸法の合板（現場手配）を間柱に接着剤（現場手配）で仮固定してください。



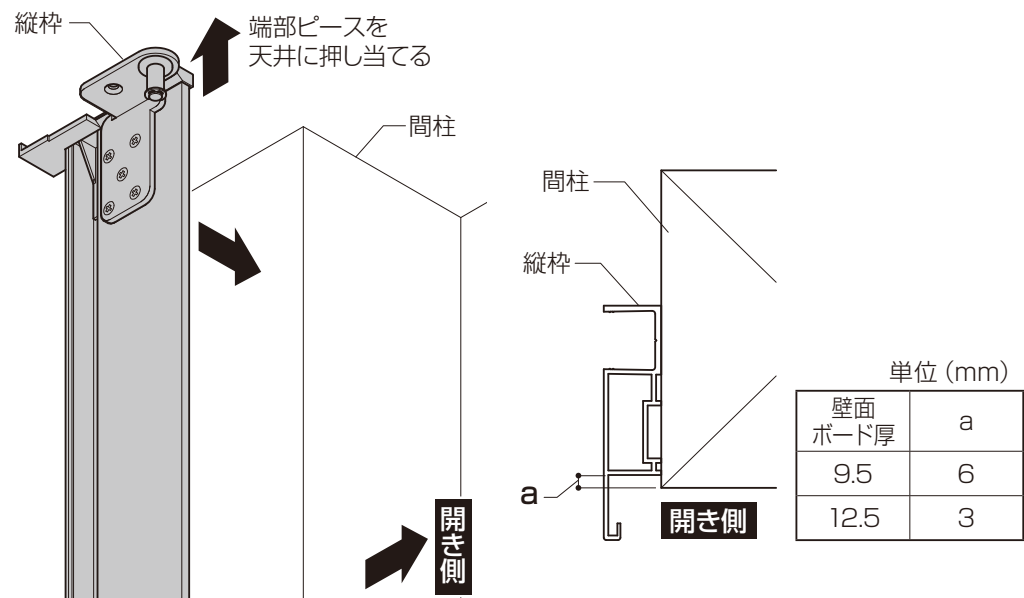
単位 (mm)	
壁面 ボード厚	a
9.5	6
12.5	3

▲ 注 意

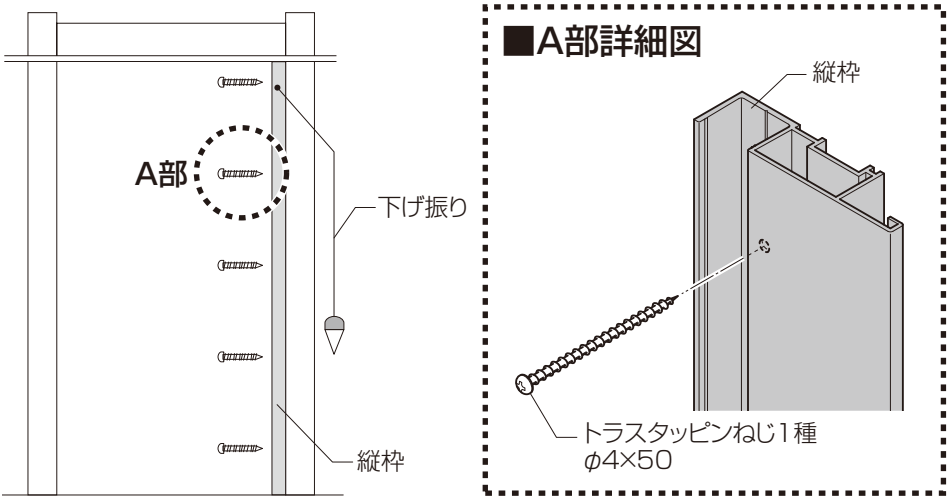
●戸先側が入隅になる場合、縦枠裏面に6mmの合板を張付けてかさ上げして枠を取付けてください。かさ上げしない場合、ドアの開閉により壁にキズつきが発生します。

※上記以外の場合は取付け準備は不要です。

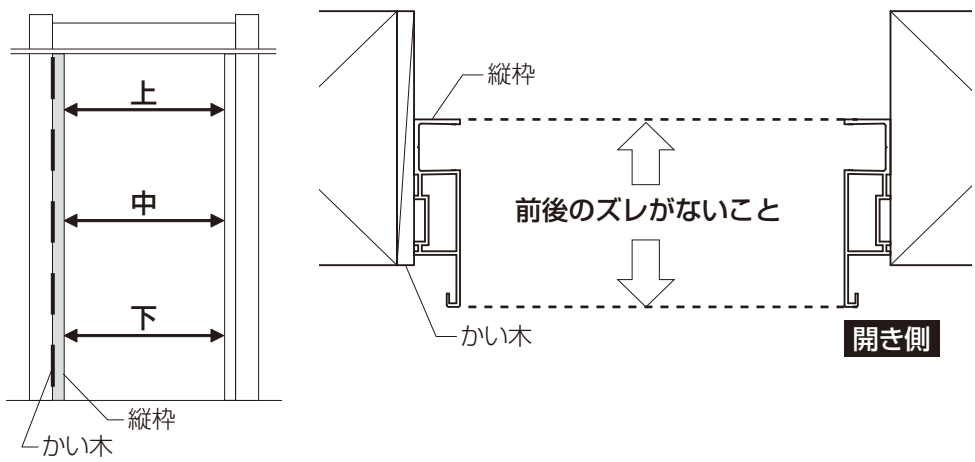
①縦枠の位置決めをします。



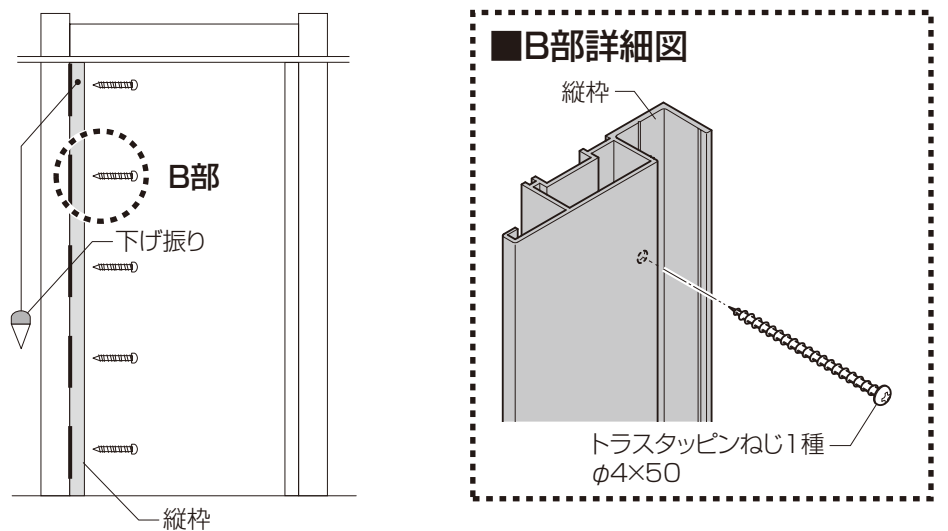
②縦枠を間柱に縦枠取付け用トラスタッピンねじ 1 種φ 4 × 50 で取付けます。
※下げ振りを使用して、たおれがないこと・垂直が出ていることを確認してください。
※端部ピースは上にずらし、天井に押し当ててください。
※一番上は縦枠端部ピースを共締めしてください。



③もう片方の縦枠をはめ込み、間柱とのすき間をかい木で調整して間口幅を出してください。(かい木は柱幅と同じものを使用してください。)
※縦枠同士に前後のズレがないことを確認してください。

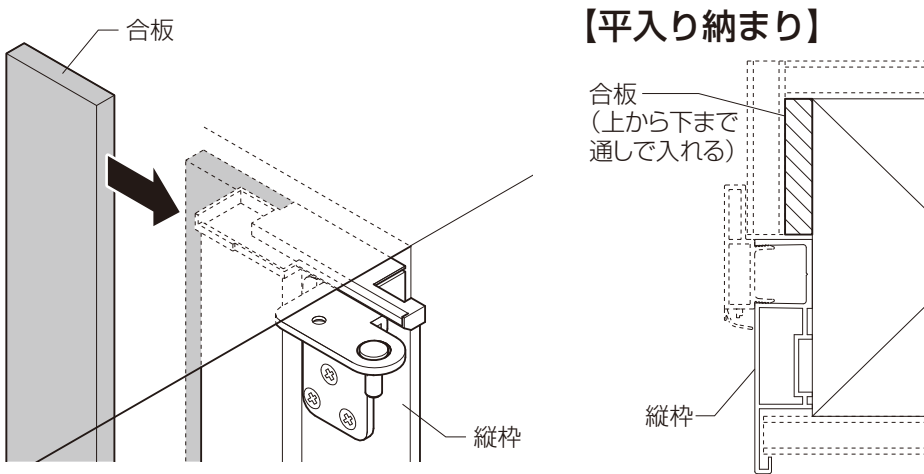


④縦枠を間柱に縦枠取付け用トラスタッピンねじ 1 種φ 4 × 50 で取付けます。
※下げ振りを使用して、たおれがないこと・垂直が出ていることを確認してください。
※一番上は縦枠端部ピースを共締めしてください。

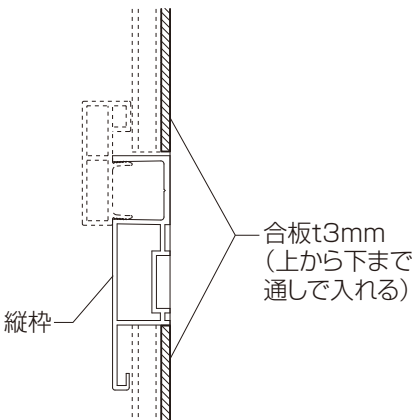


合板の張付け

次の納まりの場合は壁面ボード取付け面に合板(現場手配)を張付けてください。



【入隅納まりでかつ壁面ボード厚が9.5mm】



※上記以外の場合は合板の張付けは不要です。

■取付け順序(三方枠の場合)

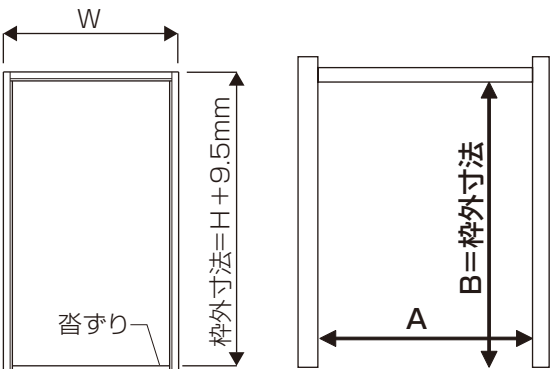
建築工事

1 開口部の作り方

※対応壁厚：94mm以上

●製品寸法

●開口寸法



開口寸法の許容範囲：A・B寸法共に+4mm、-0mm

※開口幅寸法（A 寸法）は寸法対応表を参照してください。

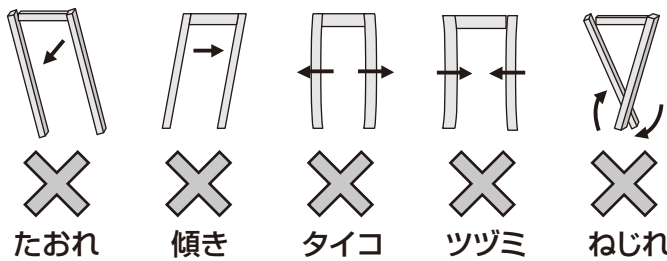
※ 12.5mm 厚の天井ボードを使用する場合 B 寸法は枠外寸法 +3mm としてください。

■A寸法対応表

納まり 壁面 ボード厚	戸先平入り納まり、 吊元平入り納まり	戸先平入り納まり、 吊元入隅納まり	戸先入隅納まり、 吊元平入り納まり	戸先入隅納まり、 吊元入隅納まり
9.5mm	製品寸法	製品寸法	製品寸法+6mm	製品寸法+6mm
12.5mm				

- ①下げ振りを使って柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器、曲尺を使ってまぐさが柱と垂直で水平になるように取付けてください。

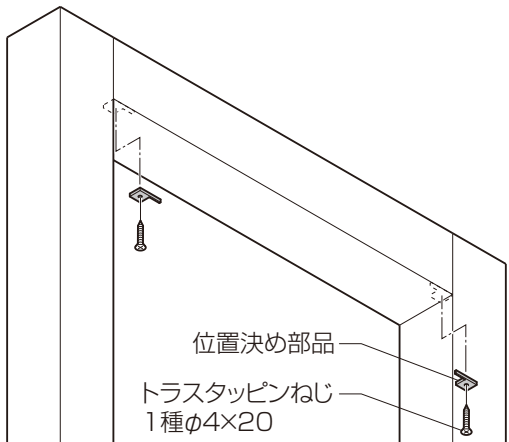
※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



2 上枠の取付け

1 位置決め部品の取付け

まぐさの両端に位置決め部品を位置決め部品取付け用トラスタッピンねじ1種φ4×20で取付けます。



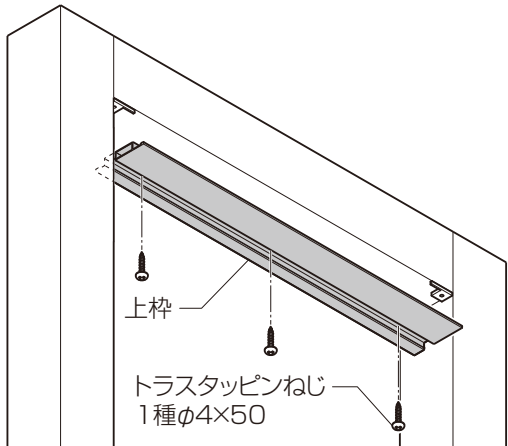
■位置決め部品取付け位置

位置決め部品は納まり、壁面ボード厚によって取付けの位置が変わります。

納まり 壁面 ボード厚	戸先平入り納まり、 吊元平入り納まり	戸先平入り納まり、 吊元入隅納まり	戸先入隅納まり、 吊元平入り納まり	戸先入隅納まり、 吊元入隅納まり
9.5mm				
12.5mm				

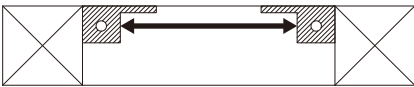
2 上枠の取付け

上枠を位置決め部品に当て、まぐさに上枠取付け用トラスタッピンねじ1種φ4×50で固定します。



お願い

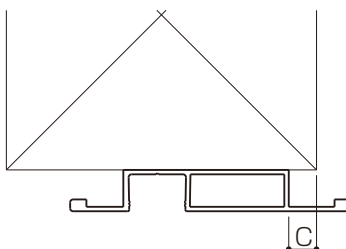
※上枠が位置決め部品間に入らない場合は躯体開口寸法が正しく出ていません。取付けできませんので、躯体開口寸法を正しく出し直してください。



↔の間に上枠が入らない：
躯体寸法不良

■上枠・位置決め部品の合わせ位置

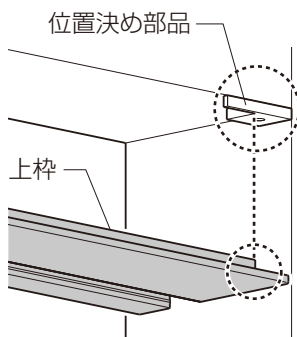
位置決め部品の入隅に上枠の角を突き合わせてください。



単位 (mm)

壁面ボード厚	C寸法
9.5	6
12.5	3

壁面ボード厚によって、上枠とまぐさのチリが異なります。



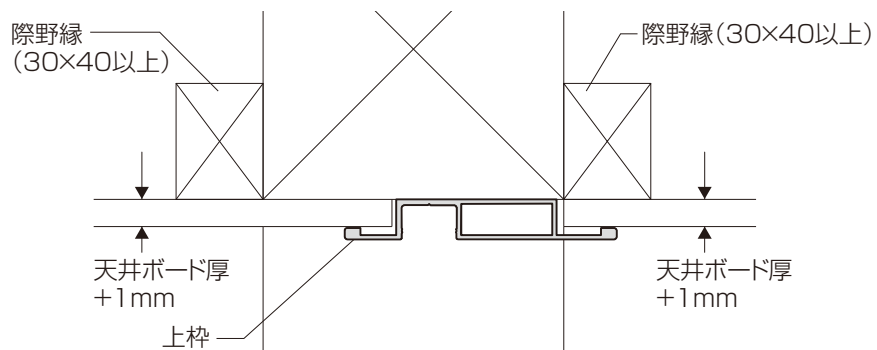
建築工事

3 天井下地の取付け

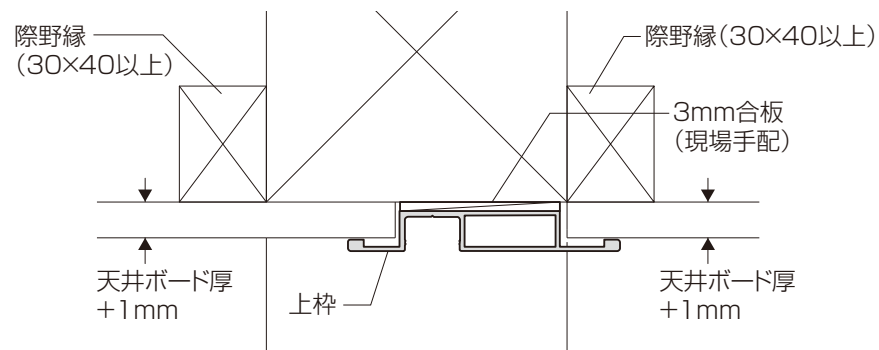
●際野縁の取付け

上枠と際野縁のすき間が天井ボードの厚みになる位置に際野縁を取付けてください。

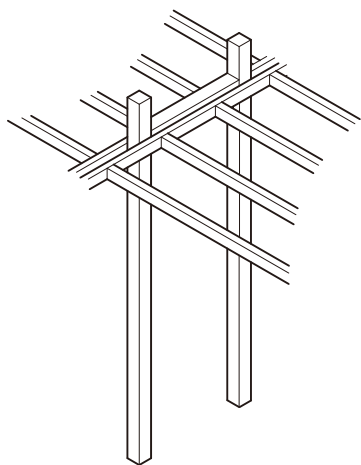
●天井ボード9.5mm



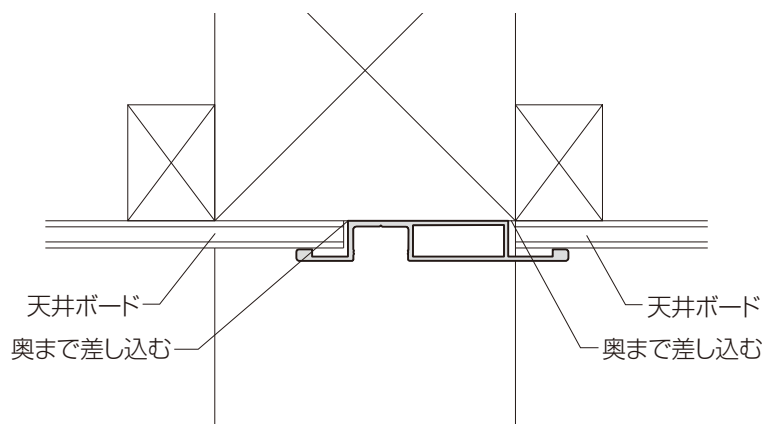
●天井ボード12.5mm



●野縁の取付け

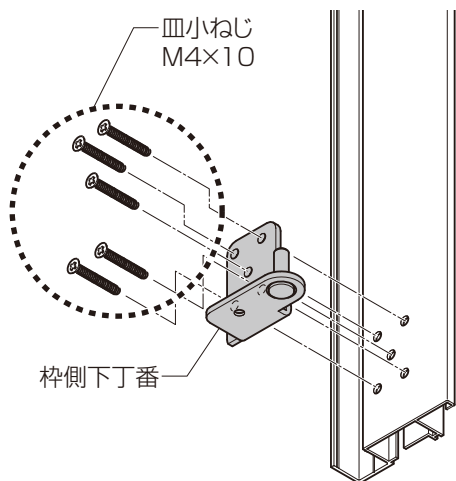
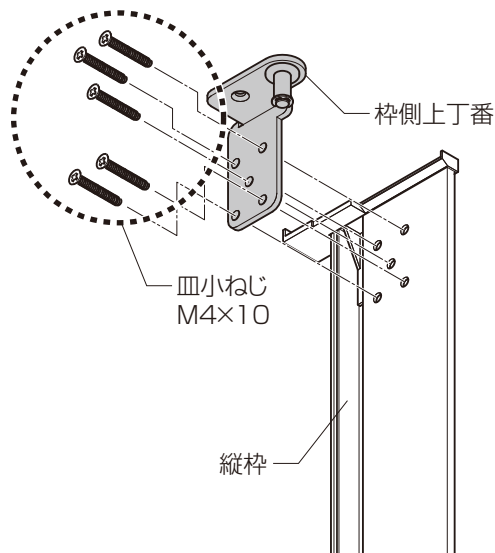


4 天井ボードの施工



5 枠側丁番の取付け

①縦枠に枠側取付け用皿小ねじM4×10で取付けます。

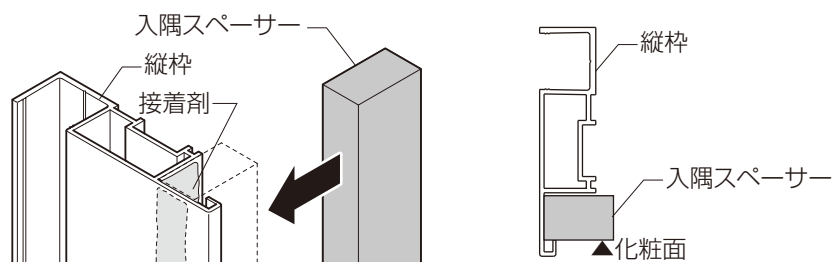


6 縦枠の取付け

取付け準備(戸先が入隅の場合のみ)

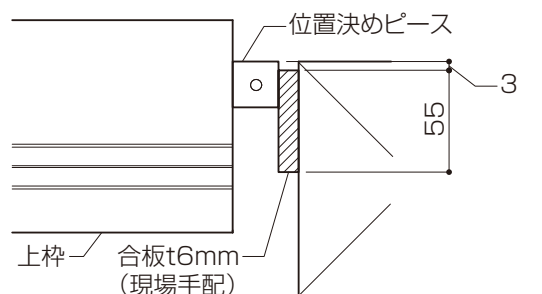
①戸先側の縦枠に入隅スペーサーを縦枠長さに合わせて切断し、スペーサー同梱の接着剤（ポリチューブ）で縦枠に張付けてください。

※接着剤は縦枠側に塗布してください。



②戸先側の縦枠取付け面を 6mm ふかします。

間口高さと同寸法の合板（現場手配）を間柱に接着剤（現場手配）で仮固定してください。



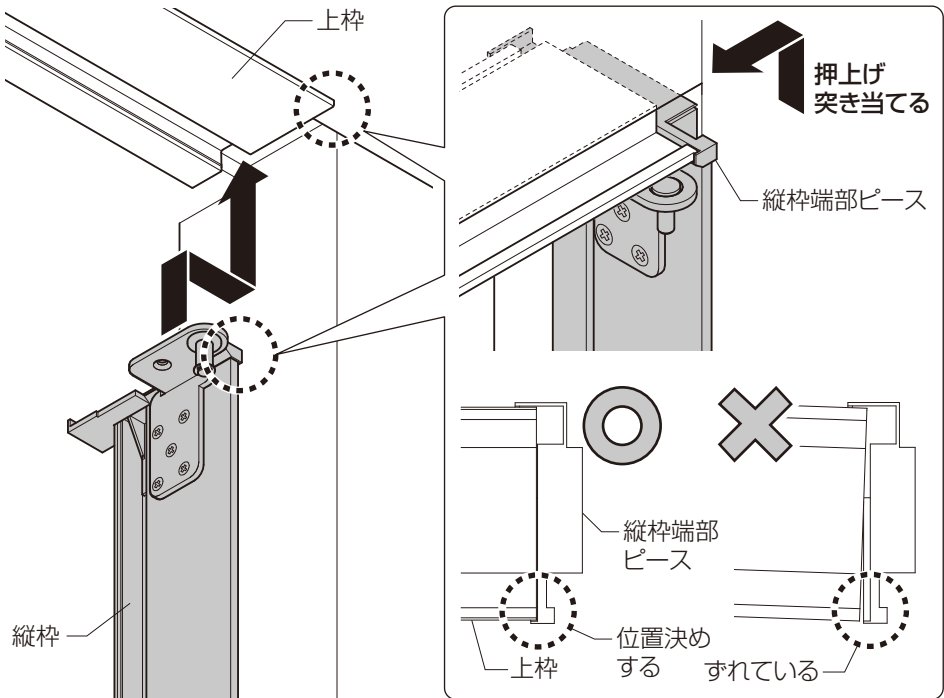
位置決めピースとのチリを 3mm あける。

⚠ 注意

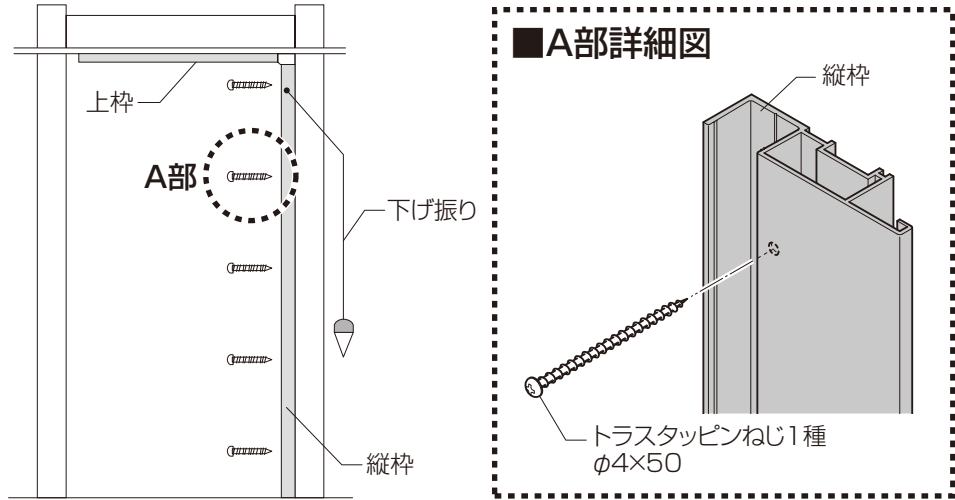
●戸先側が入隅になる場合、縦枠裏面に6mmの合板を張付けてかさ上げして枠を取付けてください。かさ上げしない場合、ドアの開閉により壁にキズつきが発生します。

※上記以外の場合は取付け準備は不要です。

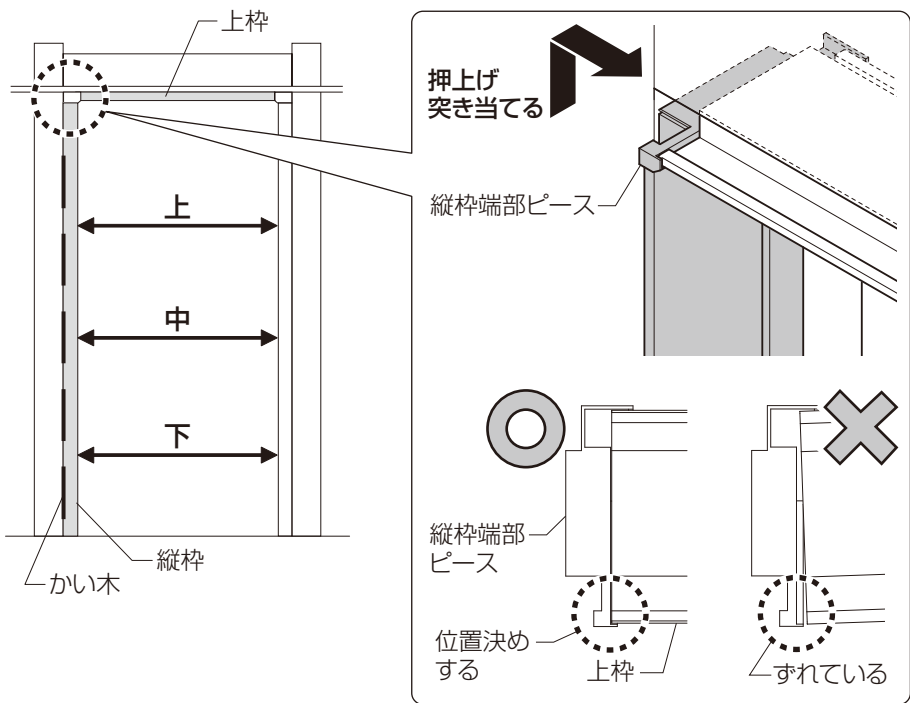
①片側の縦枠を仮置きします。
※縦枠端部ピースを押上げて上枠に突き当て、位置決めしてください。



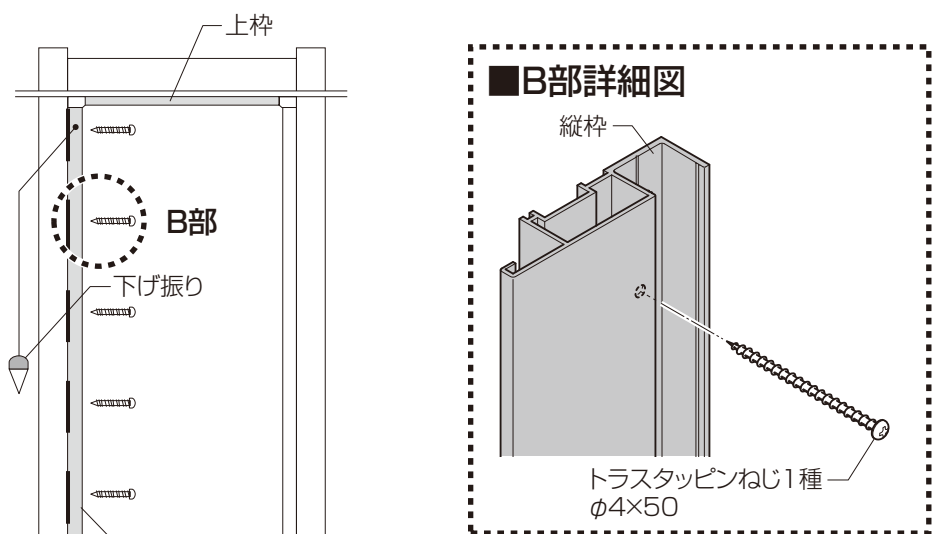
②縦枠を間柱に縦枠取付け用トラスタッピンねじ 1 種φ 4 × 50 で取付けます。
※下げ振りを使用して、たおれがないこと・垂直が出ていることを確認してください。
※一番上は縦枠端部ピースを共締めしてください。



③もう片方の縦枠を①と同様に上枠に突き当てて仮置きします。
※間柱との間にすき間ができる場合は、かい木で調整して、開口幅を出してください。
(かい木は柱幅と同じものを使用してください。)

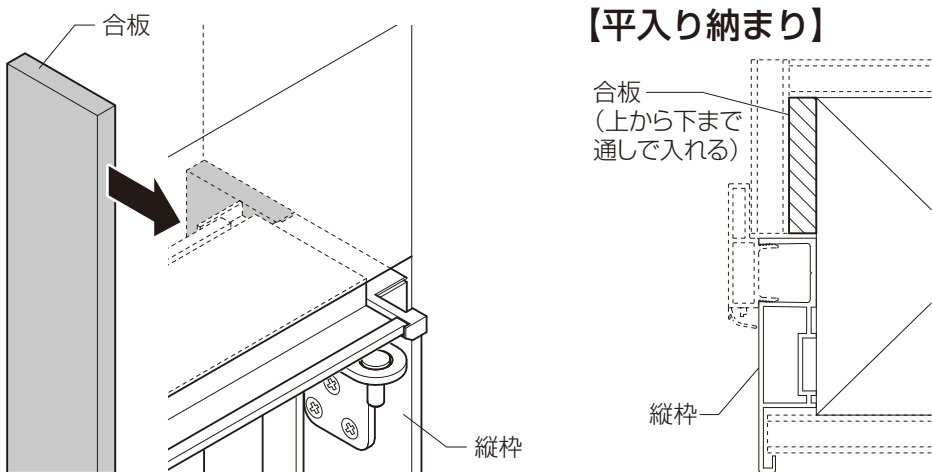


④縦枠を間柱に縦枠取付け用トラスタッピンねじ 1 種φ 4 × 50 で取付けます。
※下げ振りを使用して、たおれがないこと・垂直が出ていることを確認してください。
※一番上は縦枠端部ピースを共締めしてください。



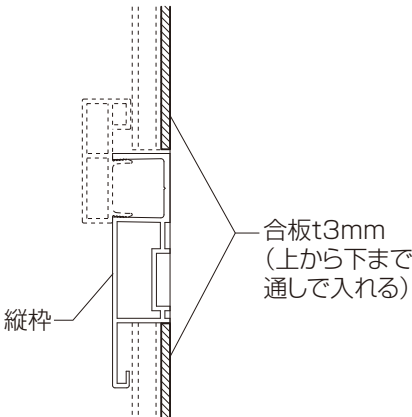
合板の張付け

次の納まりの場合は壁面ボード取付け面に合板(現場手配)を張付けてください。



単位 (mm)	
壁面ボード厚	合板厚み
9.5	12
12.5	9

【入隅納まりでかつ壁面ボード厚が9.5mm】



※上記以外の場合は合板の張付けは不要です。

■施工のながれ(二方枠・三方枠共通)

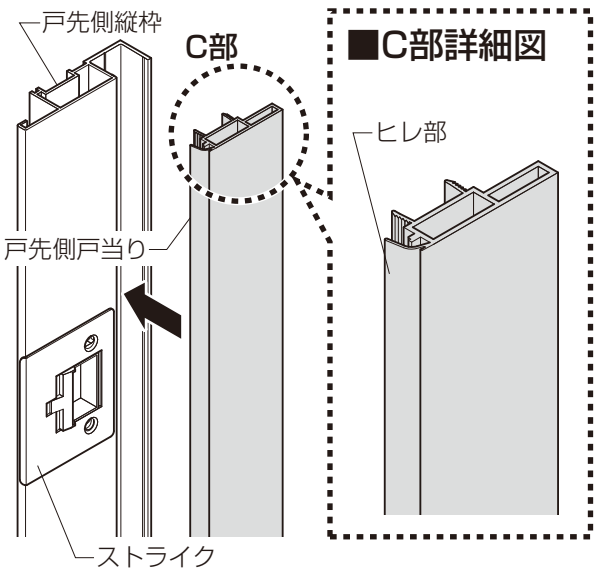
1 戸当りの取付け

納まりかたや戸先・吊元側により戸当り形状が異なります。事前に確認してから取付けてください。

■戸当り対応表

納まり		戸先側縦枠	吊元側縦枠	上枠
戸先平入り納まり、吊元平入り納まり				
戸先平入り納まり、吊元入隅納まり				
戸先入隅納まり、吊元平入り納まり				
戸先入隅納まり、吊元入隅納まり				

■戸先側戸当りの取付け向き

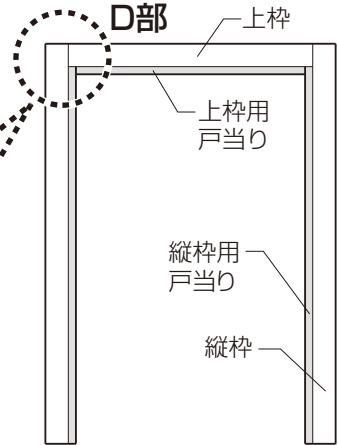
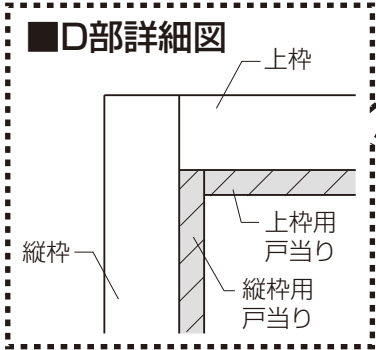
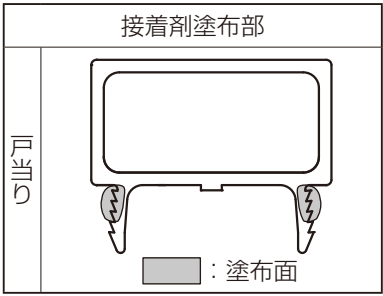


戸先側戸当りはヒレのある側がストライク側を向くように取付けしてください。

- ①戸当りの寸法を現場に合わせて切断してください。
- ②戸当りの足の外側(リブのある面)に接着剤(現場手配)をつけ、固定してください(塗布面は右図参照)。接着剤(現場手配)がはみ出した場合は必ずふきとってください。
- ※戸当りは、埋込沓すりより先に取付けてください。
- ※縦枠用→上枠用の順に取付けてください。

●お願い●

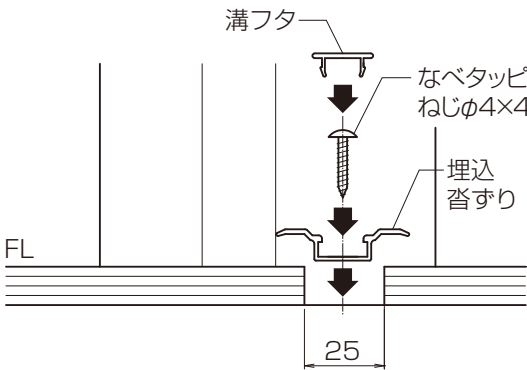
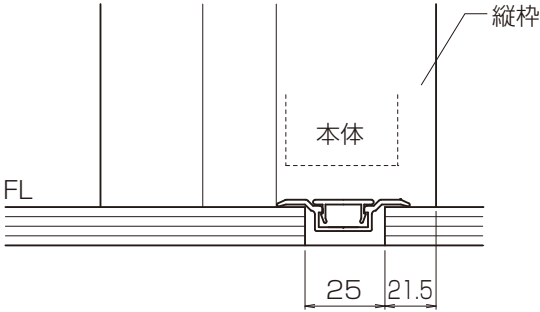
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。



【埋込沓すりを使用する場合】

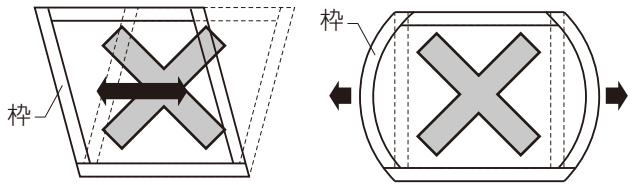


- ①補強材を必ず入れ、下図の位置に 25mm あけて床材を張ります。
- ※躯体に縦枠を仮止めして位置出しをしてください。
- ②埋込沓すりを、戸当りに接する位置にねじ止めし、溝フタをはめ込みます。



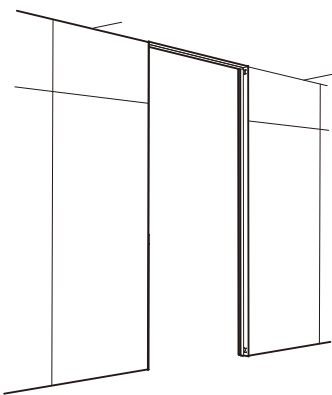
●お願い●

- ※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- ※枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

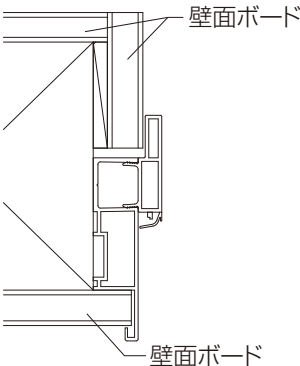


建築工事

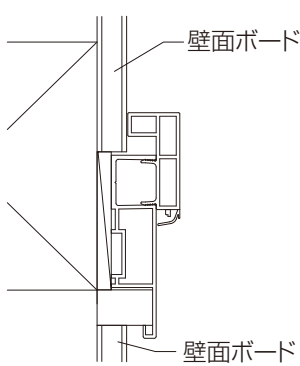
2 壁面ボードの施工



【平入り納まり】



【両隅入納まり】



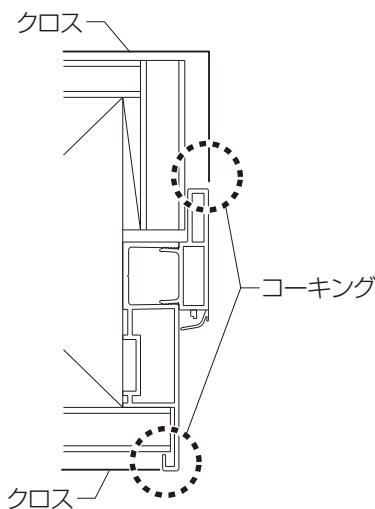
建築工事

3 クロス・幅木の施工

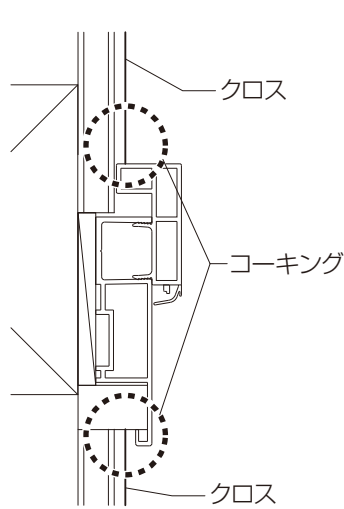
■ ライン幅木の場合 (クロス→幅木の順で取付けてください。)

●クロス張り

【平入り納まり】

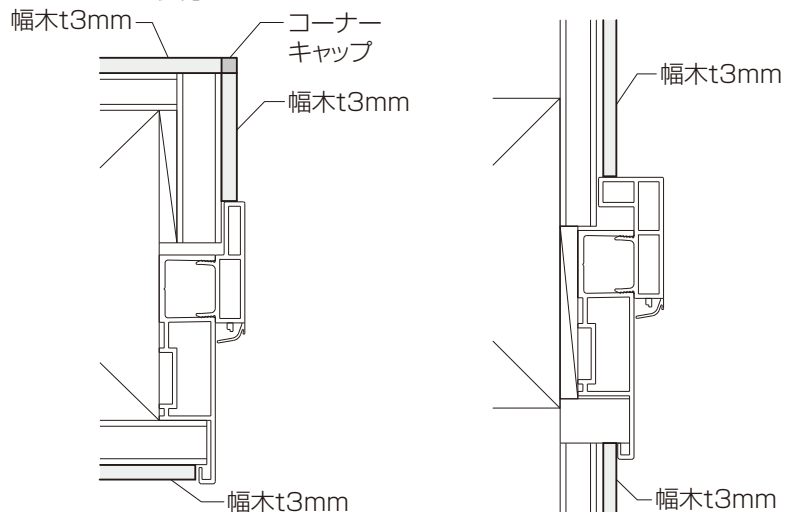


【両入隅納まり】



●幅木取付け

ソフト幅木用接着剤(ビニル重合系溶剤系接着剤)を使用し取付けてください。
※幅木はクロスの上に取り付けてください。

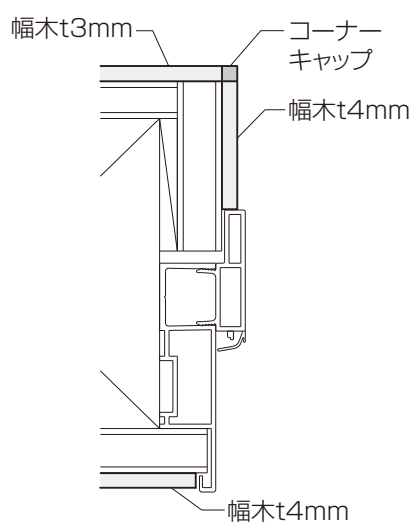


■ ライン幅木 (木質) の場合 (幅木→クロス)の順で取付けてください。)

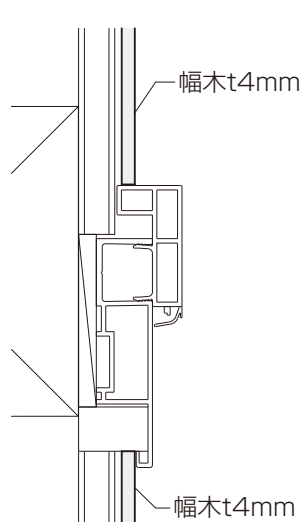
●幅木取付け

幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤(現地手配)を塗布し、かくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200～300mm です。

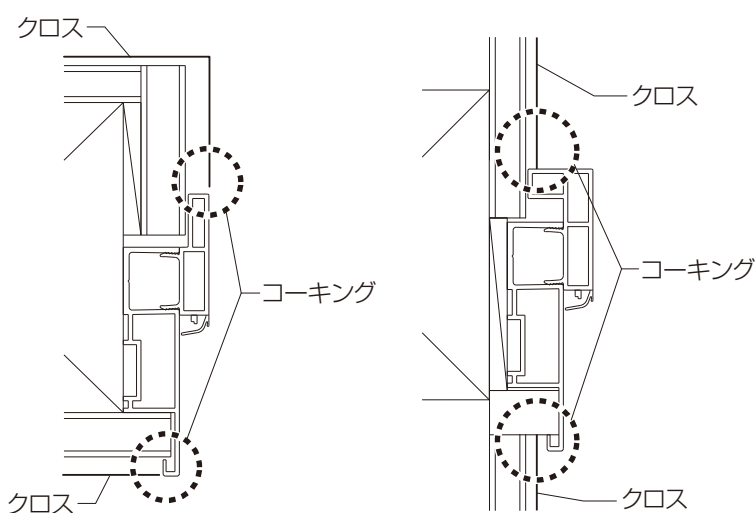
【平入り納まり】



【両入隅納まり】

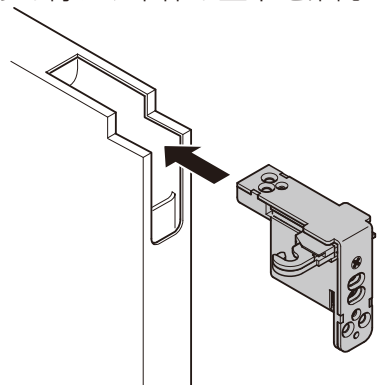


●クロス張り

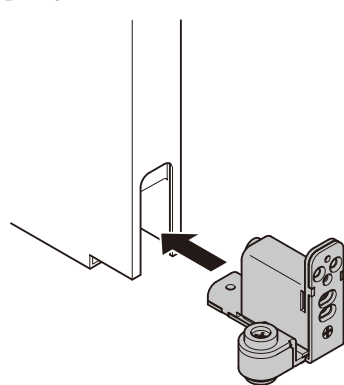


4 本体側丁番の取付け

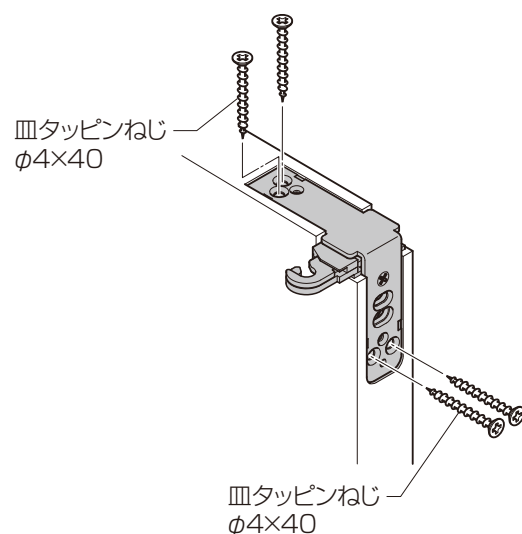
本体に本体側丁番を本体側取付け用皿タッピンねじφ4×40で取付けます。
※本体は左右兼用です。取付けの際は、本体の上下を確認してください。



【本体側上丁番】



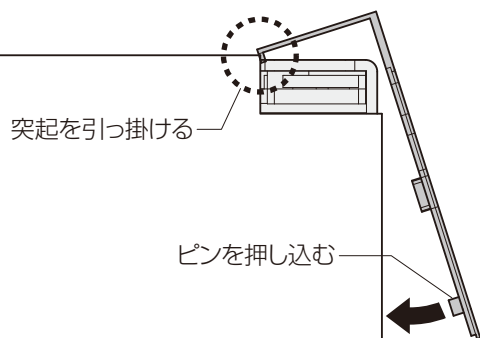
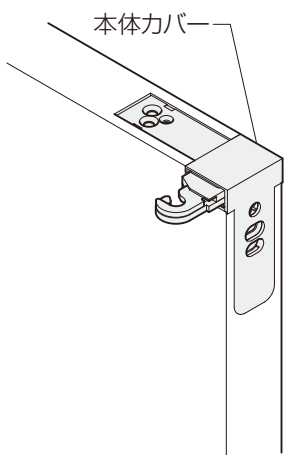
【本体側下丁番】



5 本体カバーの取付け

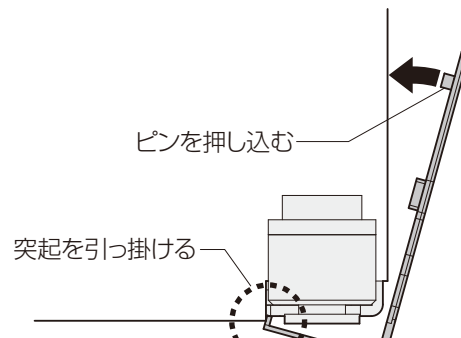
【上部本体カバー】

①本体側丁番上部に突起を引っ掛けて、側面のピンを押し込み固定します。



【下部本体カバー】

②本体側丁番下部に突起を引っ掛けて、側面のピンを押し込み固定します。



6 本体の取付け

※本体取付け前に本体側上丁番のロックが解除されていることを確認してください。
ロック状態にある場合は【本体の取外し方法】より、ロックを解除してください。

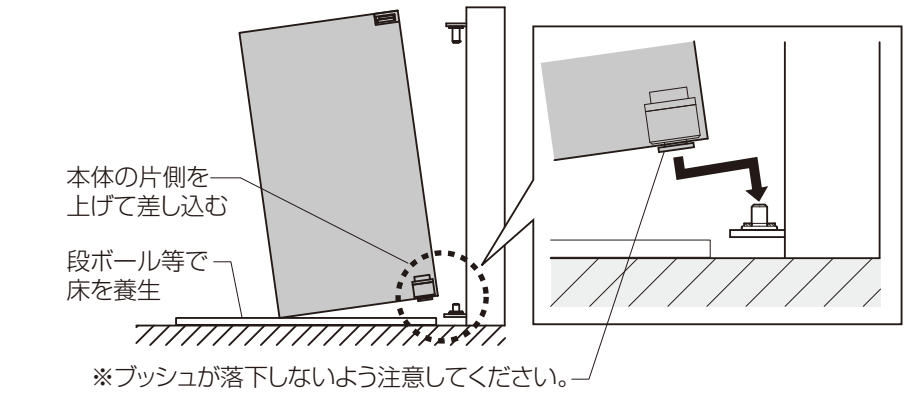
【ロック前】



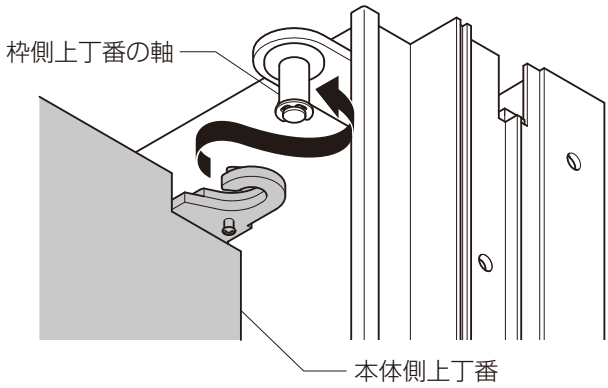
【ロック後】



①本体側下丁番の軸受に枠側下丁番の軸を差込みます。



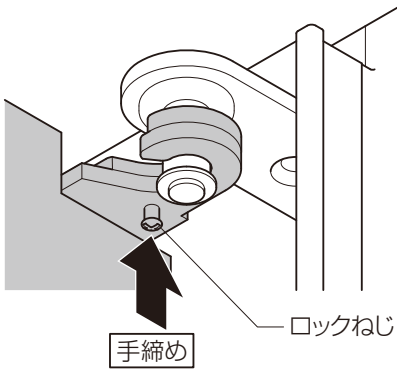
②本体側上丁番のフックを枠側上丁番の軸に引っ掛けます。



③本体側上丁番のロックねじを締め、上丁番をロックします。

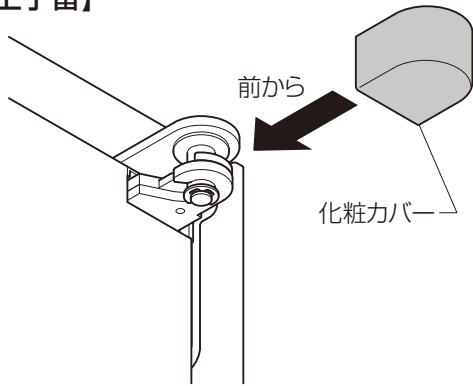
▲ 注意

ロックねじを締めたあと、上丁番がロック板で固定されて外れないことを本体をゆすって確認してください。ロック板で固定されていないと本体脱落の原因になります。

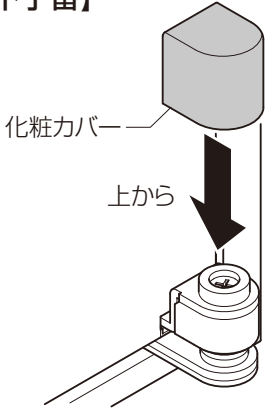


④上下それぞれ化粧カバーを軸部に取り付けます。

【上丁番】



【下丁番】



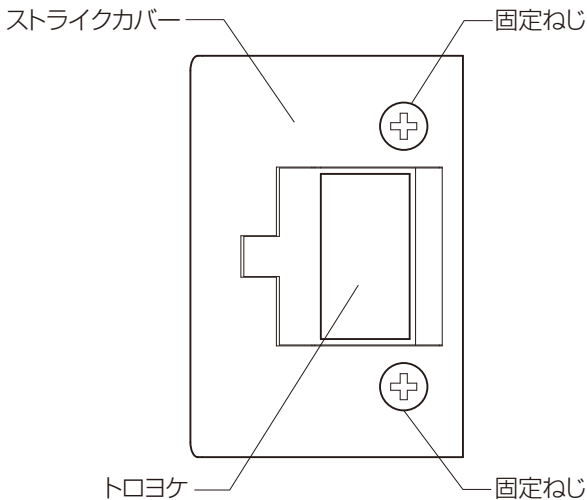
お願い

※採光窓および鏡面色本体の表面にキズ保護用シートを貼り付けてあります。キズ保護用シートは必ず手ではがしてください。

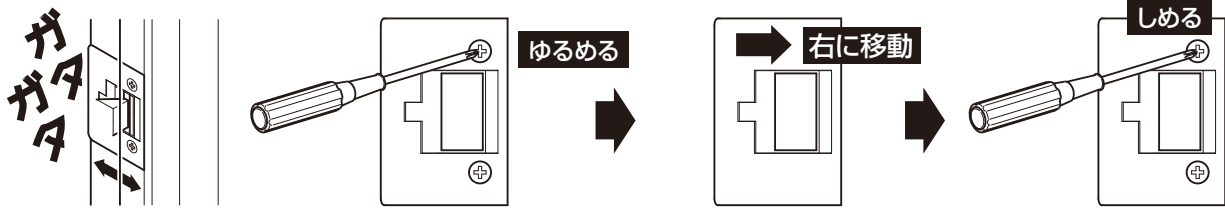
7 建付け調整

【ストライクによる調節】

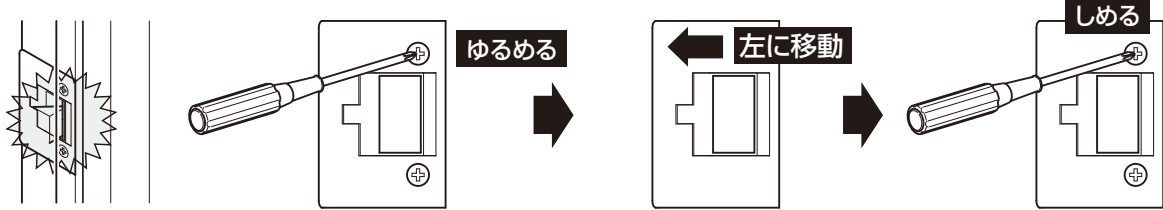
- 固定ねじ 2 ヲ所をゆるめてください。
- トロヨケを手で左右に動かして位置を決めてください。
- 固定ねじ 2 ヲ所を締めて固定してください。



■ラッチがストライクの中でガタつく

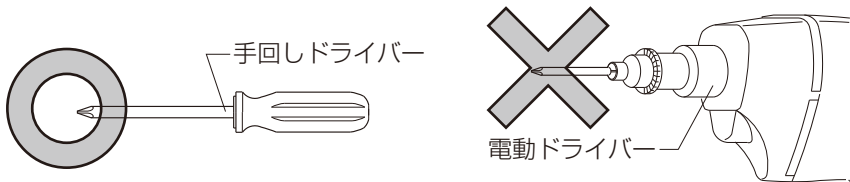


■ラッチがかからない



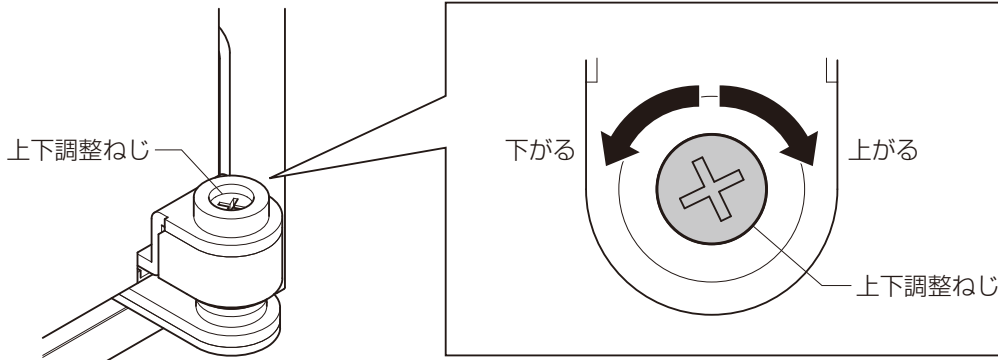
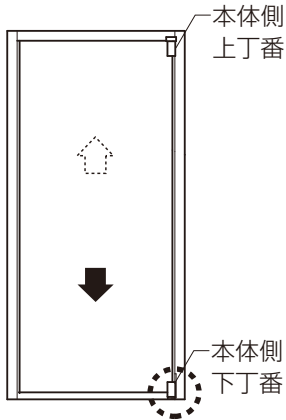
【丁番による調節】

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



上下の調整

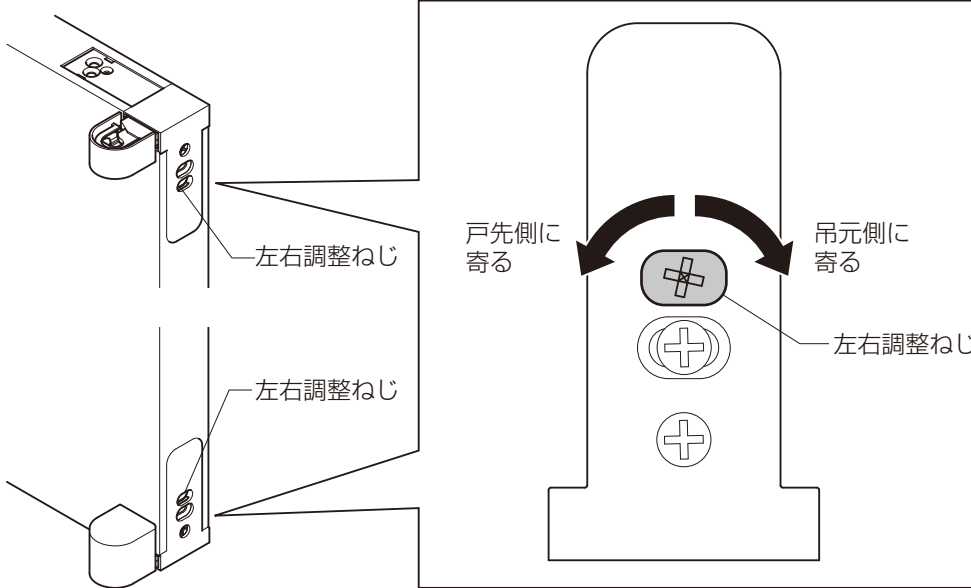
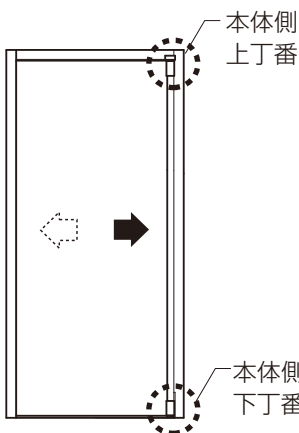
- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(2mm)、下(2mm)です。



- 【手順】
- ①上下調整ねじを回す。
- 右回し→上にあがる。
左回し→下にさがる。

左右の調整

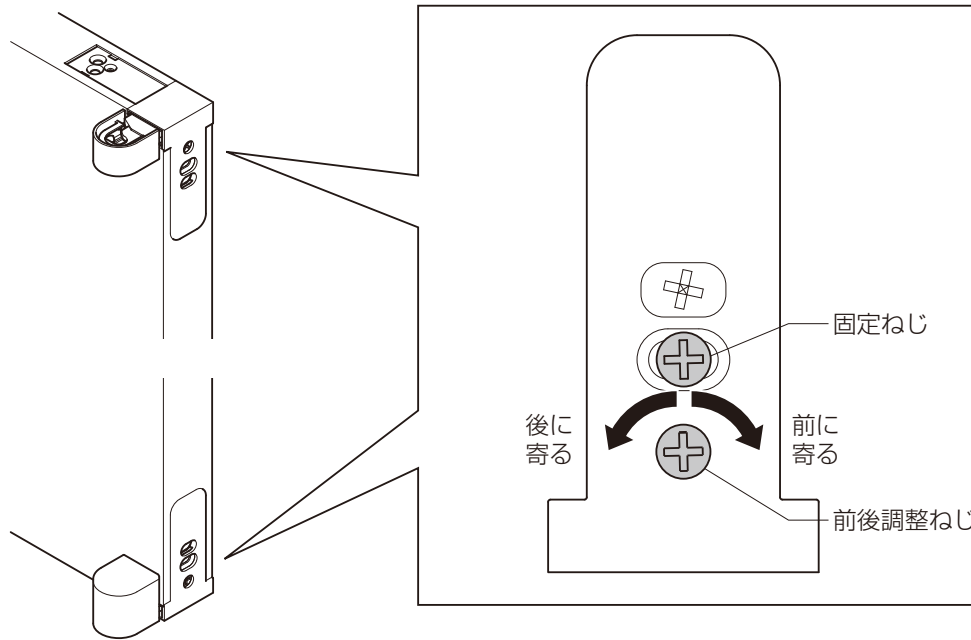
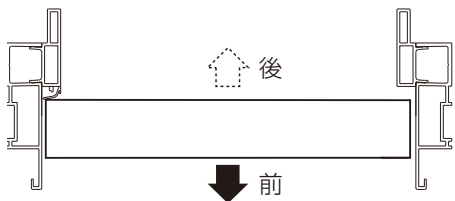
- 本体側上丁番及び本体側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、戸先側に2.5mmです。



- 【手順】
- ①左右調整ねじを回す。
- 右回し→吊元側に寄る。
左回し→戸先側に寄る。

前後の調整

- 本体側上丁番及び本体側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。

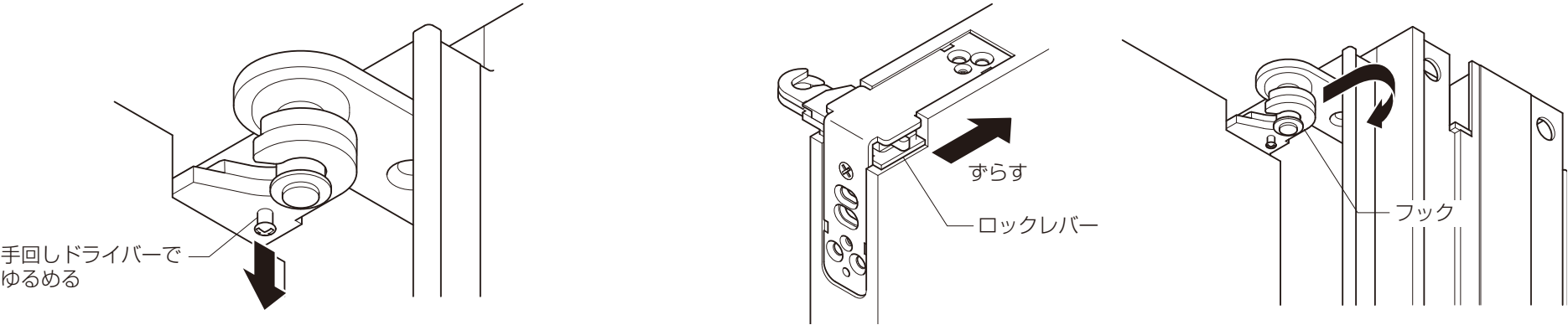


- 【手順】
- ①固定ねじをゆるめる。
 - ②前後調整ねじを回す。
 - ③固定ねじを締める。
- 右吊の場合
右回し→前に寄る。
左回し→後に寄る。
- ※左吊時は逆になります。
右回し→後に寄る。
左回し→前に寄る。

8 本体の取外し方法

※2人で作業を行ってください。

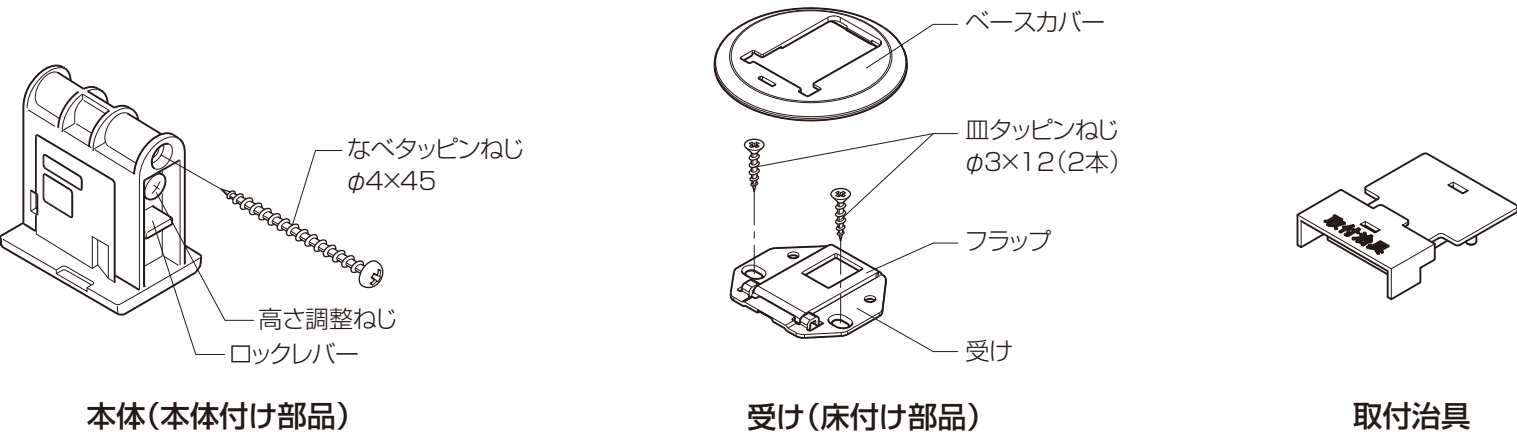
- ①取付けた時と逆の手順で、上部の化粧カバーと本体カバーを外します。
- ②ロックねじをゆるめます。
- ③本体側上丁番のロックレバーを戸先側にずらした状態でフックを軸から外します。



9 みえナイズウッドアストッパー床付け部品の取付け

- …取付け上・取扱上のご注意…
- 取付けは木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロア等の軟質床材へは取付けできません。
 - 取付け前に扉の建て付け調整を必ず行ってください。
 - 取付治具を使用して扉と床のすき間の確認を行い、扉と床のすき間が 11 ～ 15mm となるように扉高さを調整してください。
扉と床のすき間を 11mm 以下もしくは 15mm 以上にするとストッパーが作動せず、扉が壁などに衝突するおそれがあります。
 - 床暖房システムを使用している部分では使用しないでください。
 - 本製品のねじ締付時には手動ドライバーもしくはクラッチ付のドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじの空回り、ねじ頭部の破損、つぶれの原因となります。
 - ロックが掛かった状態で扉本体にもたれかかったり、引っ張ったりしないでください。ストッパーが破損するおそれがあります。
 - 磁気商品(テープ、カード、時計、精密機器等)を本体に近づけないでください。使用できなくなるおそれがあります。
 - 受け部品(床付け部品)にワックスをかけないでください。作動不良の原因になります。万一ワックスをかけてしまった場合は、ワックスをきれいに拭き取ってください。
 - 受け部品(床付け部品)にホコリ・砂がかかった場合は、掃除機などで取り除いてください。作動不良の原因になります。
 - フラップに磁気を帯びさせないでください。作動不良の原因になります。
 - 扉側部品にお湯をこぼしたり、暖房機器による熱風等を与えたりしないでください。故障の原因になります。

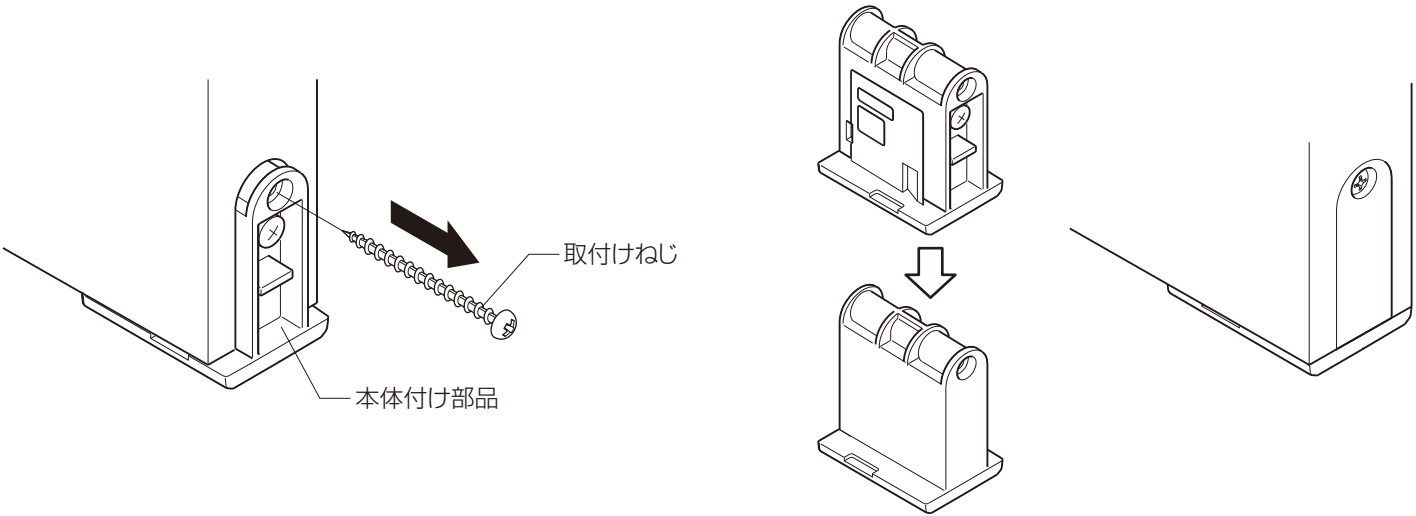
【部品の詳細】



【ドアストッパー機能を使用しない場合】

※下記対応で、ストッパー機能をなくすることが可能です。

- ①取付けねじをゆるめ、扉本体から本体付け部品を取外してください。
- ②本体付け部品をひっくり返し(木口面からロックレバーが見えない状態)、再び取付けてください。



ラシッサ
みえナイズウ
ドアストッパー
施工手順動画

5351592331001

ラシッサ
みえナイズウ
ドアストッパー
調整方法動画

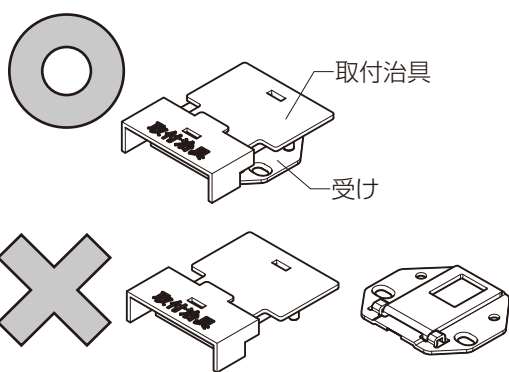
5351605736001

【取付け方法】

①取付け前の準備

①扉の建付け調整を完了させてください。
※先に受けを取付けた後、建付け調整をすると、ドアストッパーが正常に作動しない場合があります。

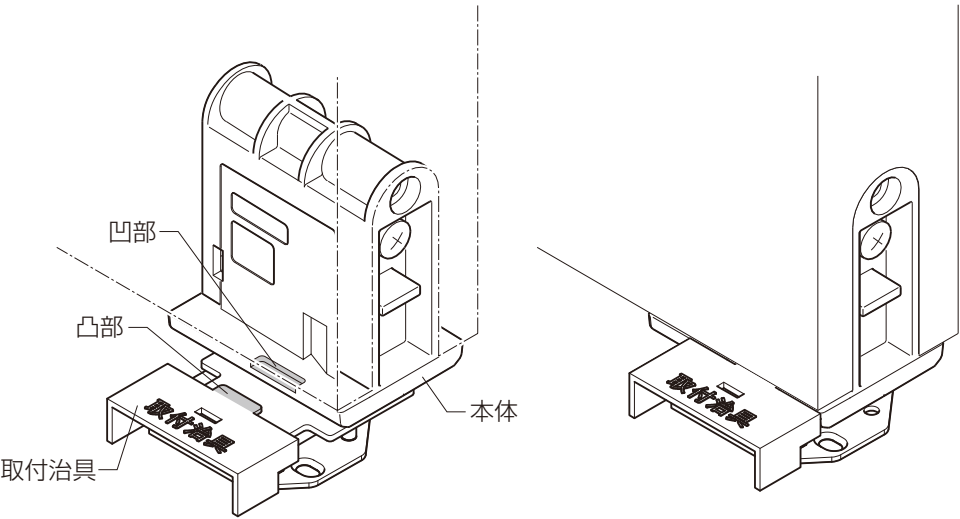
②受けが取付治具と一体になっていることを確認してください。外れている場合ははめてください。



お願い
※受けの取付けが完了するまで取付治具は外さないでください。

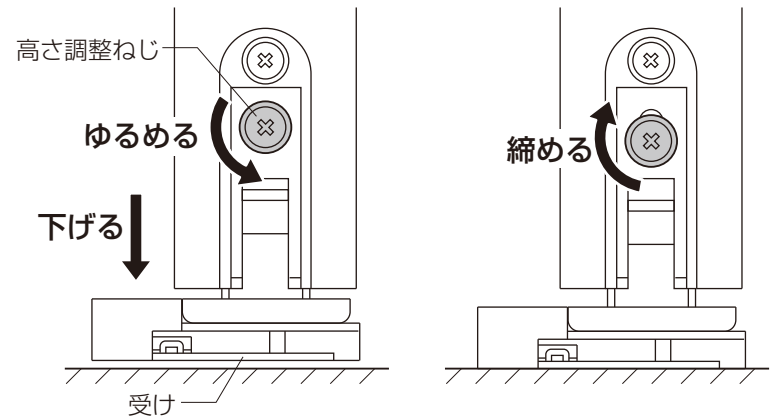
②取付け治具を本体にセットする

①取付治具の凸部を本体の凹部に合わせてセットしてください。

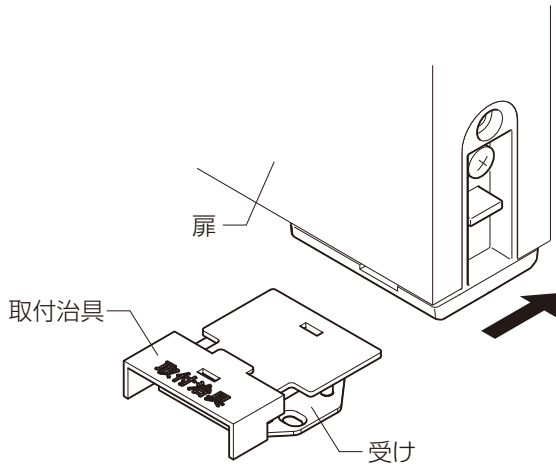


③受けを取付位置にセットする

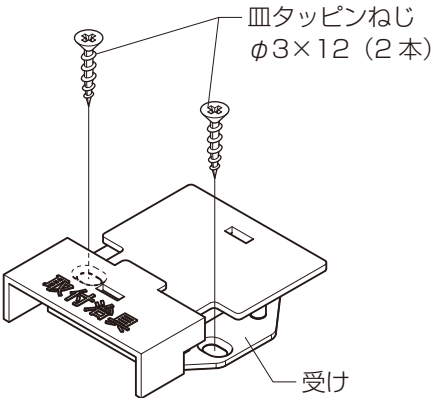
①扉を停止させたい位置まで開き、その位置で本体の高さ調整ねじをゆるめ、受けを床面まで下げてください。受けが床面に接地したら高さ調整を締付け、本体を固定してください。



②取付治具、受けを動かさないように手で固定し、扉を移動させてください。

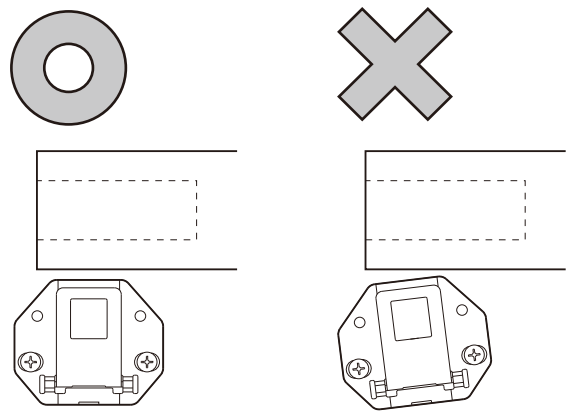


③受けの取付け位置に下穴をあけて付属のねじで固定してください。



④取付け状態および作動の確認をする

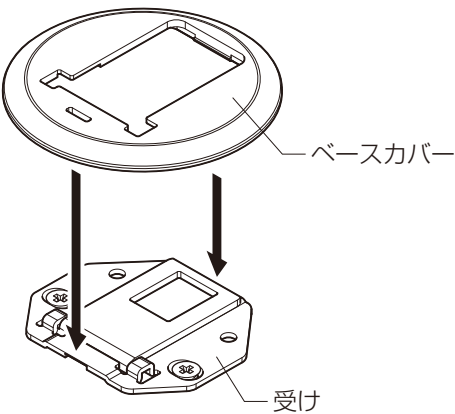
①正しく取付けられていることを確認してください。



②ロックレバーが上がっている状態で本体が受け部品の真上にくるように扉を開き、正常に作動するか確認してください。
③ロックレバーを下げてロックができることを確認してください。

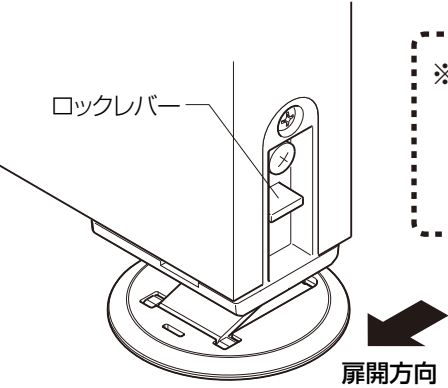
⑤ベースカバーをはめ込む

①必ず④の確認後、ベースカバーを取付けてください。
②受けにカチッと音がするまでベースカバーをはめ込んでください。



【取扱い方法】

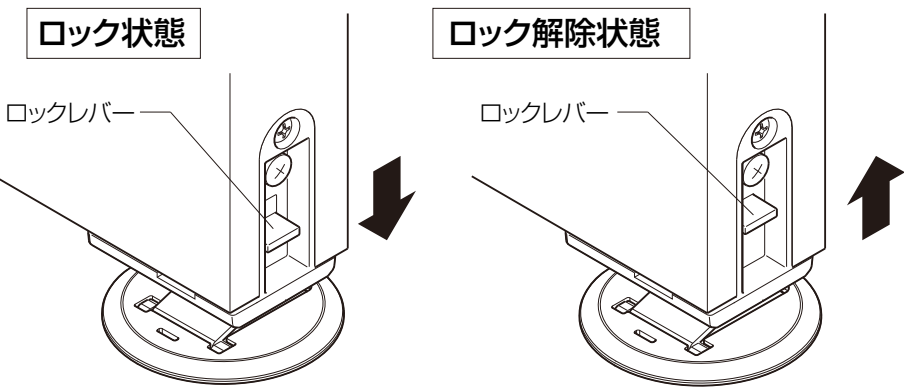
●本体が受け部品に近づくとフラップが立ち上がり、ストッパーが作動します。



お願い
※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。部品が破損するおそれがあります。

※本体の開く速度が速すぎると作動しなかったり、部品が破損するおそれがあります。

●ロックレバーを下げてロック状態にすると扉を開いた状態を維持します。



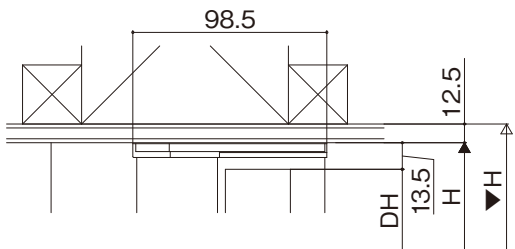
※ロックの際はフラップが本体の奥まで完全に入っていることを確認してください。
※ロック解除の際は、ロックレバーを完全に上げてください。
※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。

■納まり図

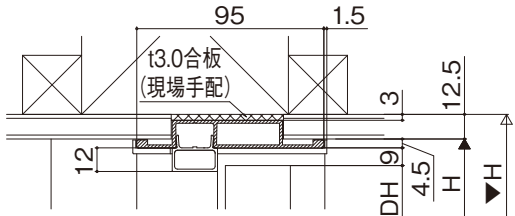
■標準ドア ライン枠

●縦断面図

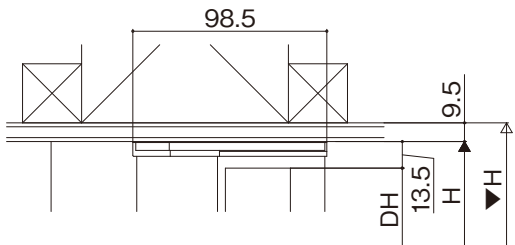
【2方枠】天井ボード12.5mm厚納まり



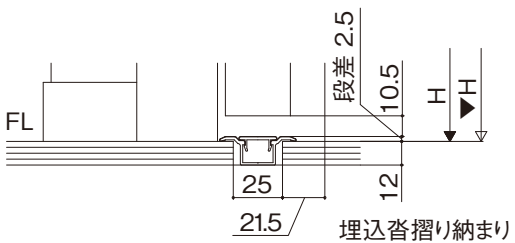
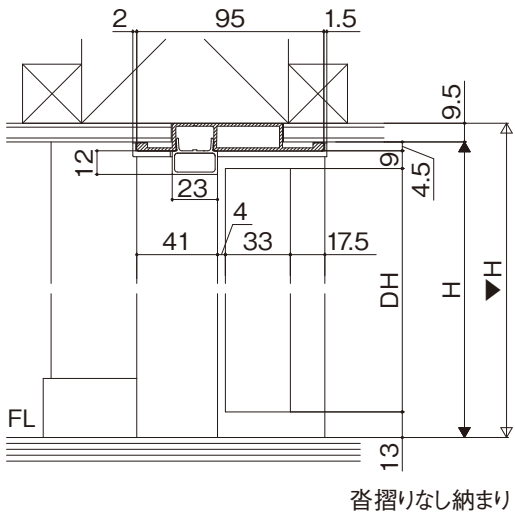
【3方枠】天井ボード12.5mm厚納まり



【推奨】
【2方枠】天井ボード9.5mm厚納まり



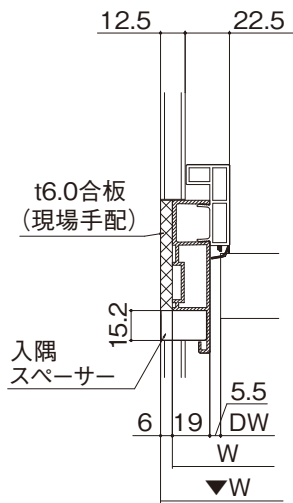
【3方枠】天井ボード9.5mm厚納まり



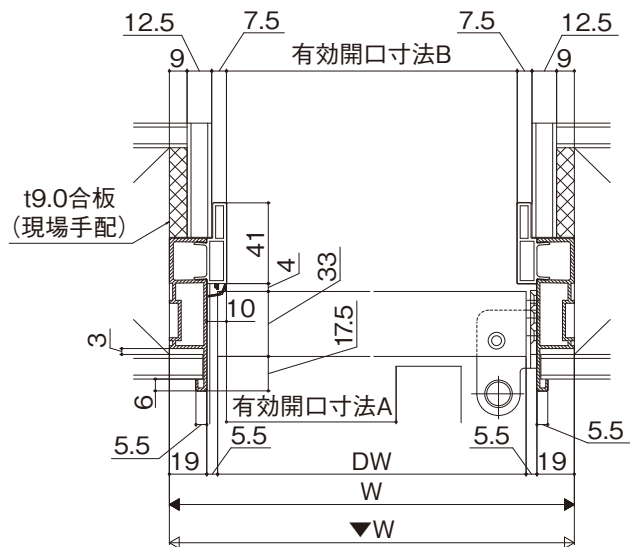
●横断面図

【推奨】壁面ボード12.5mm厚納まり

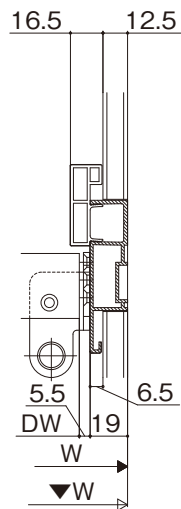
入隅納まり(戸先側)



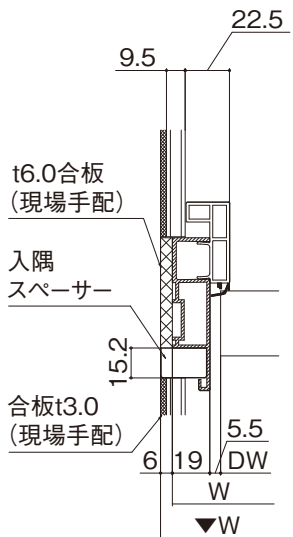
平入り納まり



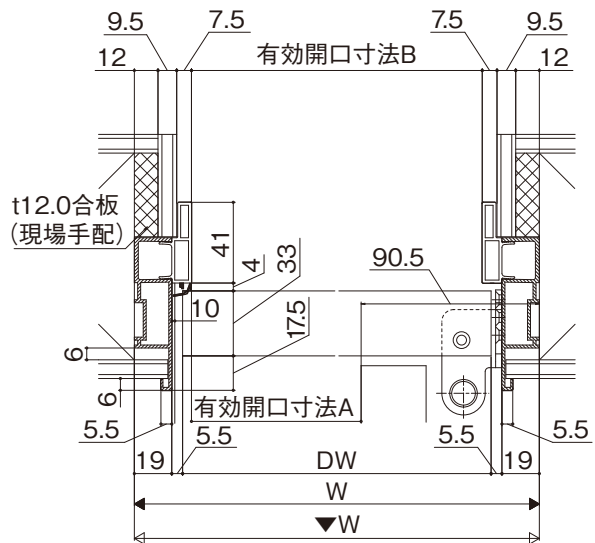
入隅納まり(戸尻側)



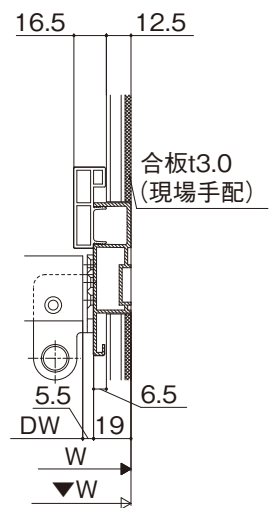
壁面ボード9.5mm厚納まり
入隅納まり(戸先側)



平入り納まり



入隅納まり(戸尻側)



有効開口寸法

W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W055 (648)	528.5	590
W06 (734)	614.5	676
W065 (754)	634.5	696
W07 (780)	660.5	722
W08 (824)	704.5	766
W09 (868)	748.5	810

算出式：A寸法=W-119.5
B寸法=W-58
DW寸法=W-49